

Rinnai

取扱説明書

家庭用 BL認定品

タンク ユニット

RTU-R1600・RTU-R1600K
RTU-R1600-PV・RTU-R1600K-PV



ご愛用の皆様へ

このたびは、ハイブリッド給湯システムをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書では、システムを構成する機器のうち、主にタンクユニットについて記載しております。お使いになる前に、この取扱説明書とガス熱源機・リモコンおよびヒートポンプユニットの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ大切に保管してください。
- お読みになった後は、設置工事説明書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- 設置工事説明書を必ず設置工事店(販売店)から受け取ってください。
- お客様自身では設置しないでください。安全や機能の確保ができません。

ECO ONE

ページ

安全上のご注意	1
各部のなまえとはたらき	11
冬期の凍結による破損防止について	15
再び使用するとき	23
日常の点検・お手入れの準備	33
日常の点検・お手入れのしかた	35
長期間使用しないとき	38
断水したとき	39
故障かな?と思ったら	41
主な仕様・能力表	43
アフターサービスについて	45



060 00012 83654 7

H183-0805 × 04(00)

安全上のご注意

この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

内容の区分

表示	 危険	 警告	 注意
意味	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる軽傷、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

- 軽傷**： 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などをさします。
物的損害： 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

絵表示の意味

 火災注意	 一般的な危険 警告 注意	 触れないこと
 ぬれ手禁止	 分解禁止	 一般的な禁止
 電源プラグを コンセントから抜く	 必ず行うこと	

※詳しい説明が記載されている参照先のページをで示しています。

⚠️ 危険

ガス漏れに気付いたときの処置

① すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。



② 窓や戸を開けガスを外へ出す。



③ もよりのガス事業者(供給業者)に連絡する。



ガス漏れに気付いたら下記行為は厳禁

火を使ったり電源プラグの抜き差し禁止



電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」禁止



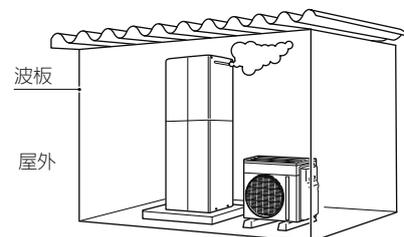
ガスのおいでの場所での電話の使用禁止



ガス漏れに気付いたときは、ガス事業者の係員による処置が終わるまで上記のことを行わないでください。炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。

屋内設置禁止

- このシステムは屋外設置専用です。絶対に屋内（波板囲いを含む）には設置しないでください。ガス熱源機の不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。また、万が一ヒートポンプユニットの冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害など）に至るおそれがあります。



安全上のご注意

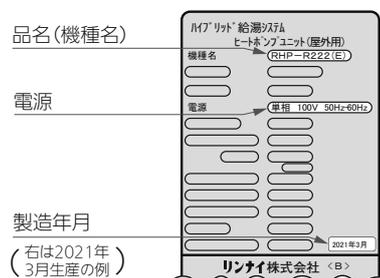
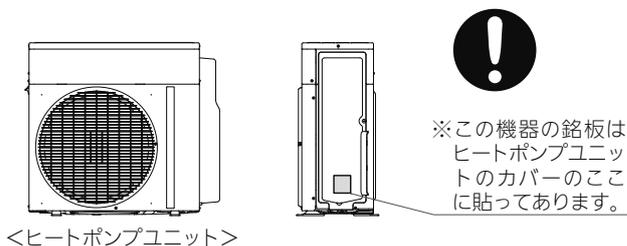
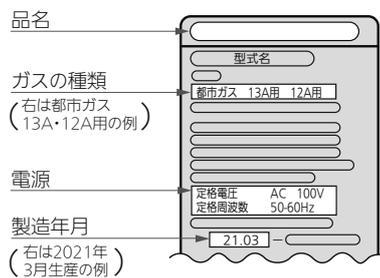
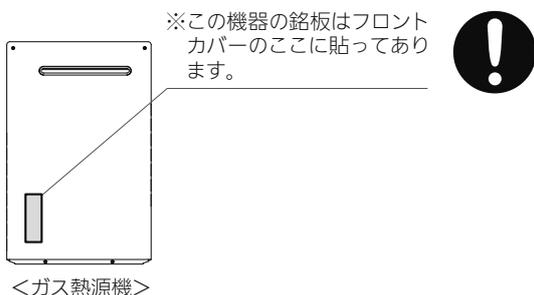
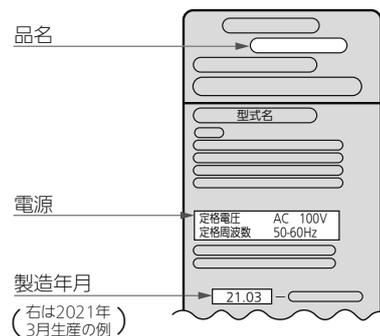
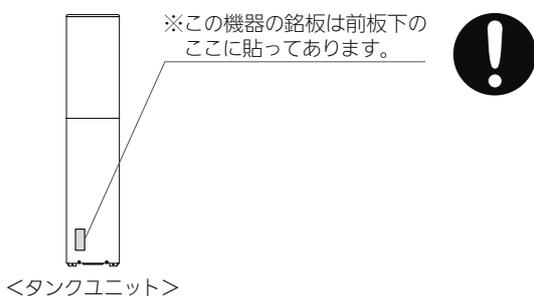
警告

機器の銘板を確認

使用する機器が使用するガスの種類（ガスグループ）および使用する電源（AC100V・50-60Hz 共用）に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外のガス種および電源を使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常着火でやけどをしたり、機器が故障する場合がありますので使用しないでください。

この機器はAC100V（50-60Hz）用です。AC100V以外の電源電圧では使用できません。

※下図は銘板の一例です。



警告

システムの構成を確認

- このシステムは、次の型式のユニットが接続してあることを確認してください。他の機種との組み合わせはできません。

ガス熱源機 ※1	RHBH-RJ246AW2-1 RHBH-RJ245AW2-1 (E) RHBH-RJ242AW2-1 (E) RHBH-RJ245AW (E)	
タンクユニット ※1	RTU-R1600 RTU-R1600K (寒冷地仕様)	RTU-R1600-PV RTU-R1600K-PV (寒冷地仕様)
ヒートポンプユニット	RHP-R222 (E)	RHP-R222 (E)-E (塩害仕様)
リモコン	MBC-301VC (B) MBC-301VC (A) MBC-261VC MC-231V	MBC-301VCA (B) MBC-301VCA (A) MBC-231VC MBC-MB301VC

※1 塩害仕様の場合は型式末尾に「-EG」や「EG」が追加されているものもあります。

改造・分解禁止

絶対に改造・分解は行わないでください。改造・分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因になります。また、火災の原因になります。



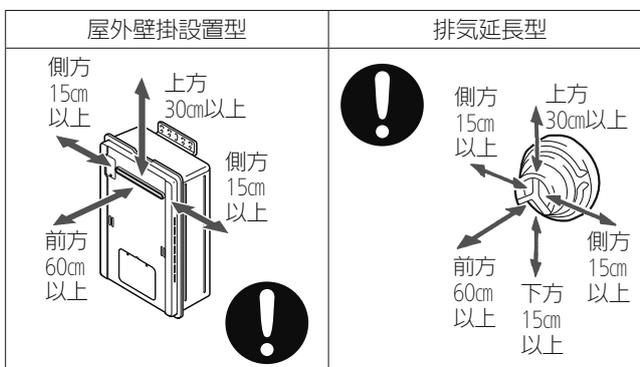
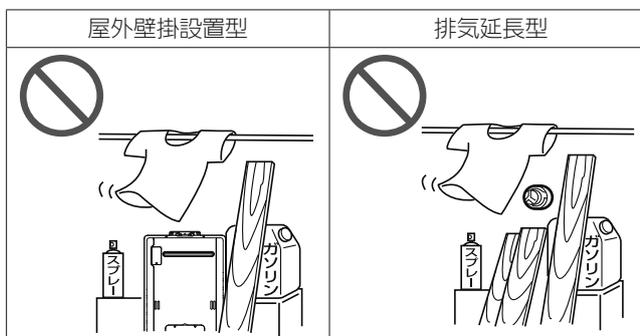
工事は資格必要

この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店または施工店に依頼してください。



火災予防のために必ず守ること

- 機器や排気口・排気筒トップの周囲では、スプレー・ガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしないでください。引火して火災のおそれがあります。
- 機器や排気口・排気筒トップの周囲にスプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどを置いたり、使用したりしないでください。熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。
- 機器や排気口・排気筒トップが洗たく物などでおおわれないようにしてください。
- 機器や排気口・排気筒トップの周囲には、紙や木材などの燃えやすい物を置かないでください。
- ガス熱源機周辺の物とは常に右図の離隔距離を確保してください。
- ヒートポンプユニットが異常時(焦げ臭いなど)は、ヒートポンプユニットが接続されている分電盤の配線用しゃ断器を「切」(OFF)、または、ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器を「OFF」にし、お買い上げの販売店または当社お客様センターに連絡してください。



リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120 - 054321

異常のまま使用すると、故障や感電・火災の原因になります。



安全上のご注意

警告

ガス熱源機の囲い設置禁止

屋外用のガス熱源機を増改築などによって屋内状態にしないでください。ガス熱源機や排気口・排気筒トップを波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



ヒートポンプユニットの囲い設置禁止

ヒートポンプユニットを増改築などによって屋内状態にしないでください。ヒートポンプユニットや、ヒートポンプユニットの空気吸込口や空気吹出口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わないでください。万が一ヒートポンプユニットの冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害など）に至るおそれがあります。



やけど防止のために必ず守ること

■シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない

突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながる可能性があります。



■手のひらで湯温を十分に確認する

●やけど防止のため、お湯を出す前にリモコンの給湯温度表示を確認し、出始めのお湯は体にかけないようにして、手で湯温を確かめてからお使いください。特に高温のお湯を使った後に再使用する場合は、配管中に熱いお湯が残っていることがありますのでご注意ください。また、使い始めは正常でも使用中に熱くなる場合もありますので、熱いお湯が出た場合はすぐに使用を中止してください。なお、このような状態が続く場合は機器の故障の可能性がありますので、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。



●おいだき中やおいだき後は、浴槽の上部と下部で湯温に差がある場合があります。入浴時には十分にかきまぜてから、手で湯温を確認してください。



●お風呂沸かし（沸かし直し）時やおいだき運転中は、循環アダプター付近が熱くなっていますので、身体が直接触れないようご注意ください。また、保温中もときどき自動的においだきしますので、おいだき中と同様にご注意ください。

●給水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出る場合があります。

このような場合は湯量を多めにしたり、必要に応じて水を混ぜてから湯温を確認してお使いください。



●パネルヒーターの表面にはさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。

●床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起す心配があります。

特に次のような方が使用する場合は、まわりの人が注意してあげることが必要です。

①乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かさない方

②疲労の激しいときやお酒や睡眠薬を飲まれた方

③皮膚や皮膚感覚の弱い方



警告

ガス事故防止のために

このガス熱源機はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店または施工店に依頼してください。

ソーラー接続禁止

この機器は、太陽熱温水器（ソーラーシステム）とは接続しないでください。ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。



やけど防止のために必ず守ること

- お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用して給水圧が下がったとき、あるいは万が一機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出ることがあります。やけどの予防のために出始めのお湯は手や体にかけないでください。また、給湯使用時は給湯栓が熱くなりますのでやけどに注意してください。
- 給水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。

ご使用について

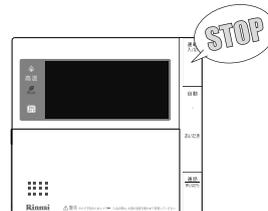
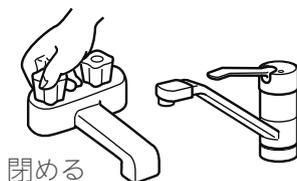
- ガス熱源機本体やガスの接続口・排気口などに乗らないでください。けがやガス熱源機の変形によるガス漏れ・不完全燃焼のおそれがあります。
- ヒートポンプユニットの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンに触ったり、フィンや空気吸込口・吹出口に棒や指を入れないでください。けがや機器故障の原因になります。
- 熱いとき、ヒートポンプユニットの接続口や水抜き栓にはさわらないでください。運転中および停止直後は熱くなっており、やけどのおそれがあります。
- 浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしないでください。ふたがはずれておぼれたり、やけどなどの思わぬ事故のおそれがあります。



機器の異常に気付いたら

- 使用中に異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、機器が使用中で消火してしまった場合はただちに使用を中止してガス栓を閉めてください。
- 異常を感じたときは、「故障かな?と思ったら」(P.41 ページ)に従ってください。上記の処置をしても直らない場合は使用を中止して、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
- 地震・火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止してガス栓・給水元栓を閉めてください。

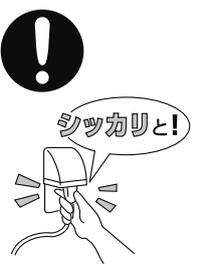
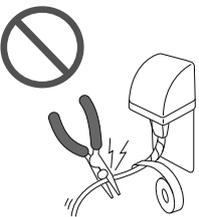
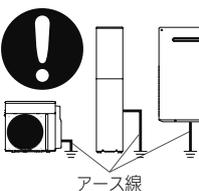
①給湯栓をすべて閉める。 ②運転スイッチを「切」にする。 ③ガス栓を閉める。



安全上のご注意

警告

電気事故防止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。また、雨が降り出している場合は電源プラグを抜かないでください。感電のおそれがあります。
- 電源ケーブルを引っばって電源プラグを抜かないでください。電源ケーブルを引っばると破損して感電や火災の原因になります。
- 電源プラグのほこりなどは定期的にとってください。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- ヒートポンプユニット内の漏電しゃ断器の動作を定期的を確認してください。故障のまま使用すると感電することがあります。故障の場合はお買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。なお、漏電しゃ断器の操作をするとき、ぬれた手で操作しないでください。感電の原因になります。
- 電源ケーブルを切断して延長はしないでください。電源ケーブルがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災などの原因となります。
- このシステムの機器はアースが必要です。アースされていることを確認してください。
- 電源プラグは根元まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。

注意

機器の設置状態の確認

- 本システムの機器の設置にあたって次の項目をチェックしてください。
 - ① 機器は傾いて設置されていませんか？
 - ② メンテナンスができない場所に設置されていませんか？メンテナンスをお断りすることがあります。
 - ③ 近隣の家が騒音（燃焼音・燃焼用送風機・ポンプ回転音・ヒートポンプユニットの運転音など）で迷惑にならない場所に設置してありますか？
 - ④ ヒートポンプユニットの空気吸込口・吹出口が降雪や除雪による雪・屋根などからの落雪で閉塞されることはありませんか？能力不足や機器の故障の原因となります。
 - ⑤ キッチンの換気扇の近くに設置していませんか？油分の付着や燃焼排ガスにより、性能低下や機器故障の原因になります。
 - ⑥ タンクユニット・ヒートポンプユニットは、小動物のすみかになるような場所には設置していませんか？小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。また、周辺をきれいに保つようにしてください。

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

注意

機器の設置状態の確認

- 植物やペットなど、ヒートポンプユニットからの冷風により悪影響を受けるものは、ヒートポンプユニットの周囲に置かないでください。
- 温泉水や地下水や井戸水は、水質によっては機器の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。その場合は、保証期間内でも修理は有料となります。また、浴槽のお湯の水質を変える機器を使用しないでください。
- この機器は一般家庭用です。業務用として多頻度・長時間のご使用は、機器の寿命を著しく縮めることとなりますのでご承知おきください。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。
- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものが置かれている場合は取り除いてください。性能低下や故障の原因となります。
- 積雪地域に設置する場合は、ヒートポンプユニットを落雪から保護するため、防雪屋根を設置したり軒下などに据え付けてください。また、降雪や除雪による雪が、空気吸込口、吹出口をふさいだり、入りこまないように架台（別売部品）の上に乗せて防雪対策を行ってください。

ご使用上の注意

- 使用中や使用直後は排気口・排気筒トップやその周辺は高温になっています。やけど防止のため、絶対に手を触れないでください。

- 給湯・シャワー・お風呂沸かし・暖房以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。

- 排気口や排気筒トップに指や棒を入れないでください。故障やけがの原因になります。

- ガス熱源機のドレン配管接続口やシステムの排水口から排出される水は、飲用・調理用・飼育用などに使用しないでください。


廃棄時の注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。お客様ご自身で処理する場合、乾電池の使用している機器は、必ず乾電池を取りはずしてから正規の処理を行ってください。


お子様に対する注意

- お風呂を沸かしているとき（浴槽に湯はりしているとき）にお子様を浴室で遊ばせないようにしてください。浴槽に落ちますと思わぬ事故につながる可能性があります。入浴中お子様が浴槽に潜ったりしないようにしてください。特に小さなお子様のいるご家庭では注意が必要です。
- お子様だけで入浴させたりお湯を使わせたりしないでください。



やけど防止のために必ず守ること

- お風呂沸かし（沸かし直し）時やおいだし運転中は、循環アダプター付近が熱くなっていますので注意してください。また、保温機能を設定している場合も定期的においだししますので注意してください。



触れないこと



ぬれ手禁止



一般的な禁止



必ず行うこと

安全上のご注意

お願い

増改築する場合

- 塀などを増設する場合は、空気の流れが停滞しないように考慮してください。また、機器の点検・修理のための空間を確保してください。燃焼不良の発生を防止するためです。
(機器の点検修理のための空間については、お買い上げの販売店または当社お客様センターにお問い合わせください。)

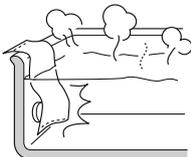
機器の設置状態の確認

- 本システムの機器の設置にあたって次の項目をチェックしてください。
 - ① 冷・暖房機や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？ 正常な燃焼の妨げになることがあります。
 - ② 棚の上など落下物の危険はありませんか？
 - ③ ガス熱源機の排気口や排気筒トップへの積雪や、屋根から落ちた雪で排気口や排気筒トップが閉塞されることはありませんか？ 不完全燃焼の原因になります。
 - ④ ヒートポンプユニットが以下の場所に設置されていませんか？
事故や故障の原因となります。
 - ・ 最低気温が -10°C (タンクユニットが寒冷地仕様の場合は -15°C) 以下となる場所
 - ・ 屋内
 - ・ 塩害地 (塩害仕様は除く)
 - ・ 階段・避難口などの付近で、避難の支障となる場所
 - ・ 冠水する場所や排水しにくい場所
 - ・ 潮風が直接当たる場所

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

- 増改築によって、燃焼排ガスが直接建物の外壁・窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 植物やペットなど、燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは排気口・排気筒トップの周囲に置かないでください。
- 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。
- この機器は海拔 1,000 m まで使用できます。1,000 m を超える地域で使用すると、点火不良などの不具合が発生することがあります。
- ヒートポンプユニットはテレビ・ラジオのアンテナより 3m 以上離してください。テレビ・ラジオに映像の乱れや雑音が生じることがあります。
- 積雪時はヒートポンプユニットの周囲を除雪してください。誤動作や故障の原因となります。

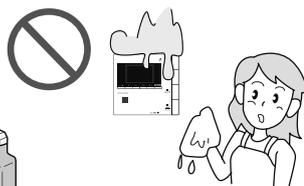
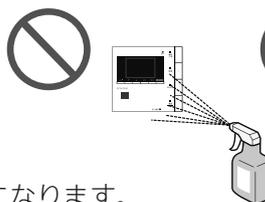
ご使用上の注意

- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命が短くなります。 
 - 硫黄・酸・アルカリ・塩分を含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器などが腐食する原因となるものがありますので入浴剤などのご注意文を十分にご参照ください。 
 - お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。 
 - 泡の出る入浴剤は使用しないでください。使用した場合、循環不良となりお風呂沸かしができません。 
 - 給水元栓を閉める場合は、必ず機器の水抜き (15～22 ページ参照) を行ってください。タンクとヒートポンプ間の配管で循環不良が発生し、ヒートポンプの過熱異常や、機器および配管の凍結破損の恐れがあります。
 - 長期間 (1 カ月以上) 使用しないときは機器の水抜き (15～22 ページ参照) を行ってください。水質変化により飲用すると健康を害するおそれがあります。
 - 給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い、すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。
 - 浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがないでください。ふさぐと循環不良となり、お風呂沸かしができません。 
 - 塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・消臭剤または塩などが、機器やガス管などにかかった場合はすぐに十分な水洗いをしてください。思わぬ事故や故障の原因となります。 
- 

お願い

リモコンの取り扱いについて

- リモコンはお子様がいたずらしないように注意してください。思わぬ事故や故障の原因になります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。また、台所リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因になります。
- リモコンのお手入れの際には、台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたり傷がつきます。
- 台所リモコンに洗剤をかけたり、水洗いしたりしないでください。また、台所リモコンの周りの壁にかけて垂れた洗剤や水はリモコンにかからないように拭きとってください。リモコンに洗剤や水が浸入して、故障の原因となります。
- リモコンは乱暴に扱わないでください。故障の原因になります。
- 市販の湯冷め防止器など、当社専用の別売品以外は使用しないでください。



飲用に使うときは

- そのまま使用しないでください。
飲用されるときは下記の点に注意し、必ず一度、やかんなどで沸騰させてください。
・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
熱いお湯が出てくるまでの水（配管内に貯まっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色・濁り・異臭があった場合は、飲用には使用せず、お買い上げの販売店または当社お客様センターに点検を依頼してください。

日本国内向けです

- 海外での設置および使用はしないでください。

停電時のご注意

- 停電すると使用できません。水も出なくなることがありますが、このようなときは給湯栓を閉めてください。なお、停電時に非常用電源（市販品）を利用するときはリモコンまたはガス熱源機の取扱説明書を参照してください。
- 冬季などに停電した場合は、凍結のおそれがあります。15～22ページを参照して、システムの水抜きを行ってください。

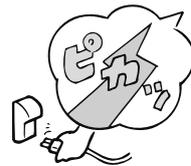
断水したとき

- 断水時には運転を停止して給湯栓を閉めてください。給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。
- 断水時や近くで水道工事が行われるときは、このシステムの給水元栓を閉めてください。濁った水で機器内のストレーナなどが目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
- 断水復旧後は39・40ページを参照して、配管にたまった水を出してから使用してください。



雷が発生したときの注意

- 雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、ガス熱源機の電源プラグをコンセントから抜き、ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器を「OFF」にしてください。または、ガス熱源機とヒートポンプユニットがそれぞれ接続されている分電盤の配線用しゃ断器を「切」(OFF)にしてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。また、感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。
- 雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグがぬれていないことを確認してコンセントにしっかりと差し込み、ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器を「ON」にしてください。ガス熱源機とヒートポンプユニットがそれぞれ接続されている分電盤の配線用しゃ断器を「入」(ON)にしてください。その後、時刻・温度などの再設定をしてください。



ぬれた手でさわらないこと



一般的な禁止



必ず行うこと



電源プラグをコンセントから抜く

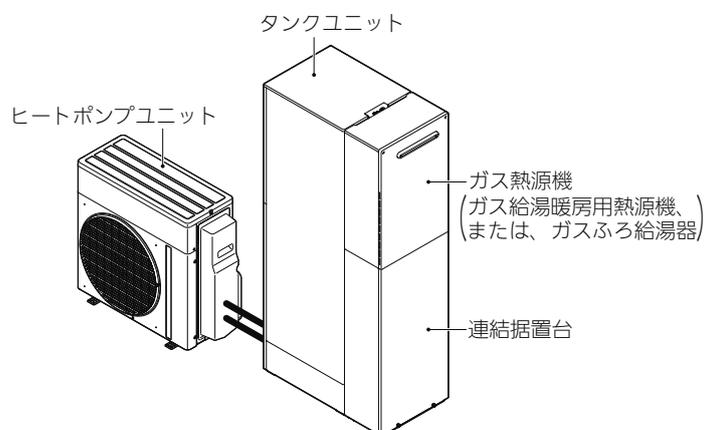


ぬれ手禁止

各部のなまえとはたらき

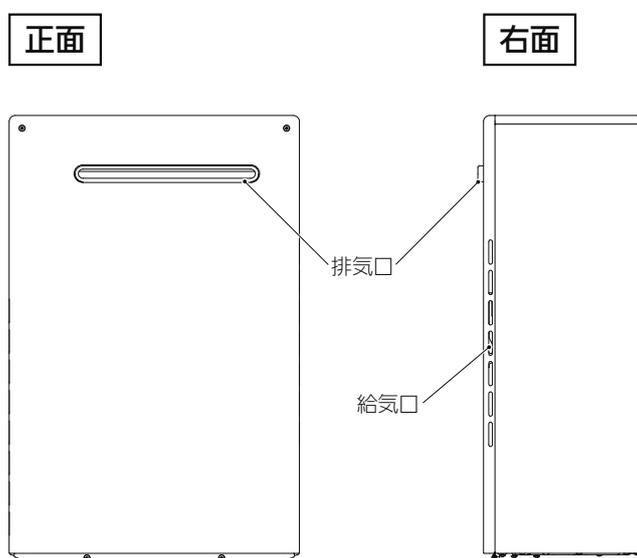
ハイブリッド給湯システムは、ガス熱源機、タンクユニット、ヒートポンプユニットによって構成されています。

熱源機・タンク一体タイプの例



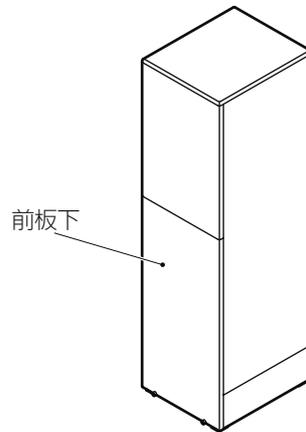
ガス熱源機

- ガスを燃焼させてお湯を作ります。



タンクユニット

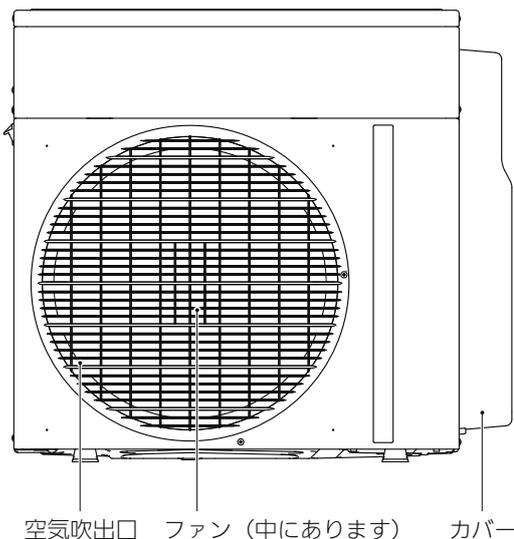
- ヒートポンプユニットで作ったお湯を貯めておきます。
- 貯まったお湯と水を混ぜて給湯します。



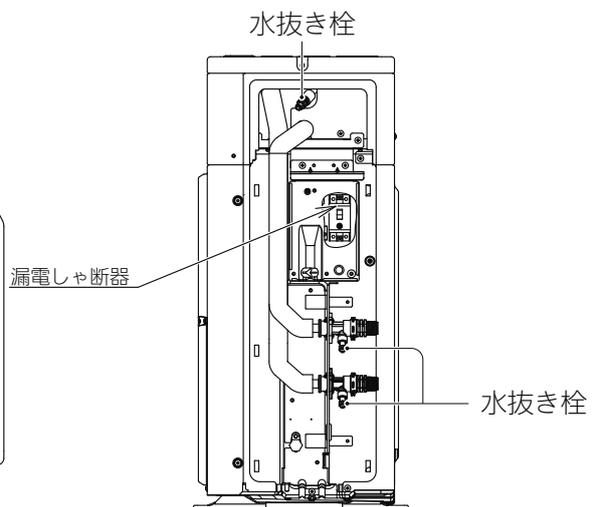
ヒートポンプユニット

- 空気の熱を利用してお湯を作ります。(タンク沸き上げ運転を行います。)

正面



右面



お知らせ

- タンクユニットは、タンクに貯めたお湯と水を混合させて、リモコンの給湯温度のお湯を出湯します。
 - タンク内のお湯が少ない（ぬるい）場合にはガス熱源機がおい加熱して給湯します。
 - ヒートポンプユニットは、ガス給湯器のように出湯時に必ず運転するものではありません。出湯していない状態でもタンク沸き上げをする場合があります。
- カバー類の取りはずしかたは33・34ページを参照してください。

初めてお使いのとき

準備する

タンクにお湯を沸かす準備をします。

⚠️ 注意

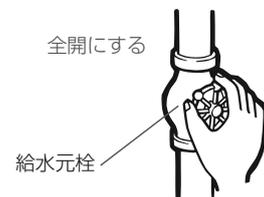
- 本システムは、あらかじめ暖房部・ふろ部の試運転・タンクユニットへの水はりが必要です。試運転などは施工時に実施されますが、未実施の際はご購入の販売店にご連絡ください。
- ぬれた手で電源プラグや漏電しゃ断器をさわらないでください。感電のおそれがあります。
- サーモスタット式やワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。

本製品には3つの水はり方法があります。下表を参照して、お客様のご使用状況に応じた水はり方法を選択して、水はりを行ってください。

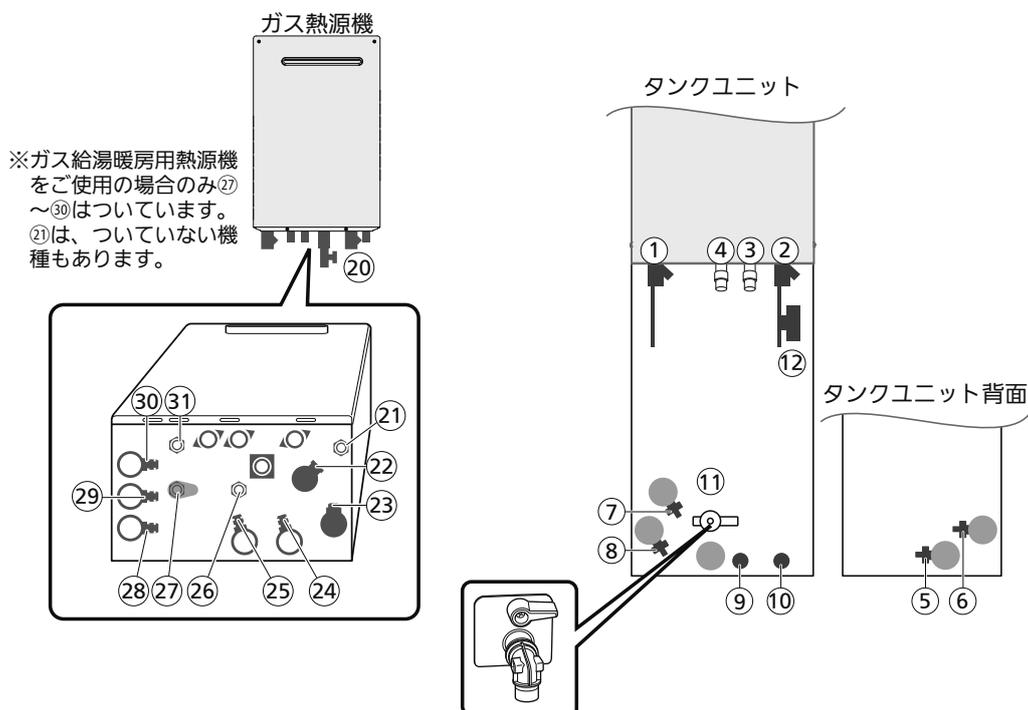
水はり方法1	MBC-301 シリーズリモコンを操作して「タンク自動水はり運転」機能で水はりを行う。 (MBC-301 シリーズご使用時は主にこの方法で水はります)	23 ページ参照
水はり方法2	手動で水はりを行う。 (停電時や MBC-261 シリーズ、MBC-231 シリーズリモコンご使用時はこの方法で水はります)	27 ページ参照
水はり方法3	MBC-301 シリーズリモコンを操作して「手動水はりモード」機能で水はりを行う。 (「水はり方法1」で水はりできない時はこの方法で水はります)	29 ページ参照

水はり確認後

1 給水元栓⑫を全開にする。(下図参照)



<機器の水抜き栓、空気抜き栓、バルブの位置概要>



2 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める。

- 給湯栓はお湯の使用場所にあります。すべての給湯栓について確認してください。
- ※サーモスタット式やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にした状態で確認してください。

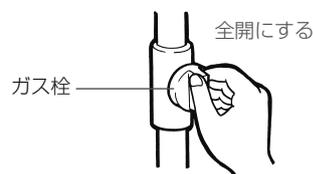


3 ガス熱源機（タンクユニット含む）の電源プラグをコンセントに差し込む。

- コンセントは機器付近の壁などにあります。
- ガス熱源機が接続されている分電盤の配線用しゃ断器を「入」(ON)にする。
- タンクユニットの電源も同時に入ります。

4 ガス栓⑳を全開にする。(左図参照)

- ガス栓はガス熱源機の下部または側部にあります。



5 ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器を「ON」にする。

- ヒートポンプユニットが接続されている分電盤の配線用しゃ断器を「入」(ON)にする。

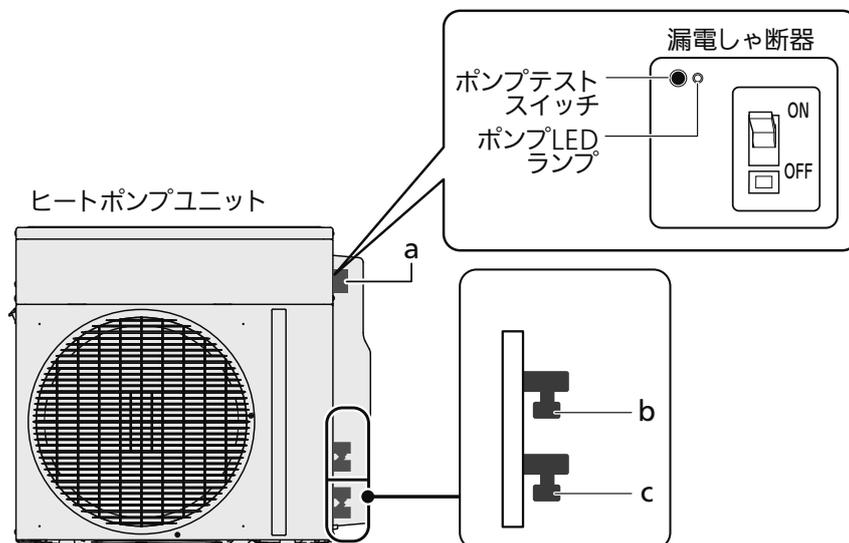
ヒートポンプユニットのご使用にあたって

このシステムは、ガス熱源機とタンクユニットとヒートポンプユニットから構成されています。ヒートポンプユニットは、ガス熱源機に接続されたリモコンの設定に従って運転します。

お知らせ

- ・タンクユニットは、タンクに蓄熱されたお湯と給水を混合させ、リモコン設定温度のお湯を出湯します。
- ・タンク内に蓄熱（湯）がない場合にはガス機器がお湯を加熱して給湯します。
- ・ヒートポンプユニットは、ガス給湯器のように出湯時に必ず運転するものではありません。また、出湯していない状態でも貯湯などのヒートポンプ運転を行う場合があります。

※電源供給中は、ポンプLEDランプが点滅しています。
(電源OFFでポンプLEDランプは消灯します。)



●暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください。

⚠️注意

- 冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 外気温が極端に低く（ -10°C [タンクユニットが寒冷地仕様の場合は -15°C] 以下）なる日や、それ以上の気温でも風のある日は対策その①では凍結予防ができなくなります。このような場合には、対策その②の方法を行ってください。また、停電時は、凍結予防装置がはたらきません。（「停電対応ユニット」(UF-TTU1) を使っている間も）したがって、屋外の水が凍るおそれがある場合で、お湯を使わない時は、対策その②の方法を行ってください。
- 凍結による破損の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

🏠お願い

暖房の凍結予防について（ガス給湯暖房用熱源機をご使用の場合）

- 外気温が 0°C 近くまで下がってくると、自動的にポンプが運転し、暖房燃焼して暖房水を循環させて、凍結を予防します。（電源プラグをコンセントから抜かないでください。ガス栓も閉めないでください）
- 「❄️」スノーマークがある放熱器は運転つまみをスノーマークに合わせてください。
- 暖房の凍結予防運転時の暖房燃焼中に排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

対策その

1

凍結予防ヒータと自動運転による方法

- タンクユニットは、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータが組み込まれています。
- ガス熱源機には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータ（給湯側）と自動ポンプ運転装置（ふろ側・暖房側）が組み込まれています。

浴室リモコン



台所リモコン

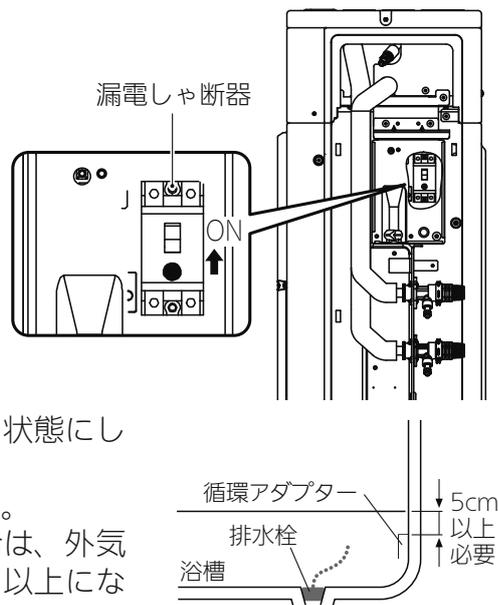


自動ポンプ運転を開始すると、各リモコンの表示画面に「🌡️」表示が出ます。

- ヒートポンプユニットは、外気温が下がると給水ポンプが運転してヒートポンプユニットとタンクユニットの凍結を予防します。さらに外気温が下がると、自動的にタンク沸き上げ（低温）をして凍結を予防します。

■お客様に行っていただきたいこと

1. ガス熱源機の電源プラグがコンセントに差し込まれていること、ガス熱源機が接続されている分電盤の配線用しゃ断器が「入」(ON) のままであることを確認してください。リモコンの運転スイッチは「入」「切」どちらの状態でも作動します。
2. ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器がON のままであること、ヒートポンプユニットが接続されている分電盤の配線用しゃ断器が「入」(ON) のままであることを確認してください。
3. 浴槽の残り湯が循環アダプターより5cm以上、上にある状態にしておいてください。
 - 機器が外気温を感知し、自動的にポンプ運転を行います。
 - 浴槽の残り湯が循環アダプターより5cm以上ない場合は、外気温が凍結する温度になる前に浴槽の水をふやして5cm以上になるようにしてください。
4. 配管に凍結予防ヒータが設置されている場合は凍結予防ヒータの電源が「入」であることを確認してください。



対策その2 水抜きによる方法

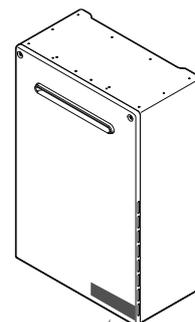
- 機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。また、停電時は、凍結予防装置がはたらきません。（「停電対応ユニット」(UF-TTU1)を使っている間も）したがって、屋外の水が凍るおそれがある場合で、お湯を使わない時は、対策その2の方法を行ってください。
- 《水抜き》は下記を参照し、お客様のご使用状況に応じて、本説明書に記載している方法に沿って行ってください。

水抜き方法1	MBC-301 シリーズリモコンを操作して「水抜きモード」機能で水抜きを行う。 (MBC-301 シリーズリモコンご使用時は主にこの方法で水抜きします)	19 ページ参照
水抜き方法2	すべて手動で水抜きを行う。 (停電時(「停電対応ユニット」(UF-TTU1) 使用時を含む) や MBC-261 シリーズ、MBC-231 シリーズリモコンご使用時はこの方法で水抜きします)	21 ページ参照

- お使いになっている、ガス熱源機とタンクユニットの型式を確認して取扱説明書に沿って作業してください。(ガス栓、給水元栓、排水栓、水抜き栓などの位置は型式によって異なります)
- ガス栓、給水元栓、排水栓、水抜き栓の位置は 17 ~ 18 ページを参照してください。

※使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

※暖房側の《水抜き》は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く(分電盤の配線用しゃ断器を「切」(OFF)にする)ときのみ行ってください。不凍液注入の有無はフロントカバー右下に貼ってあるラベルでわかります。



不凍液が入っている場合は
不凍液が入っています
 が貼ってあります。

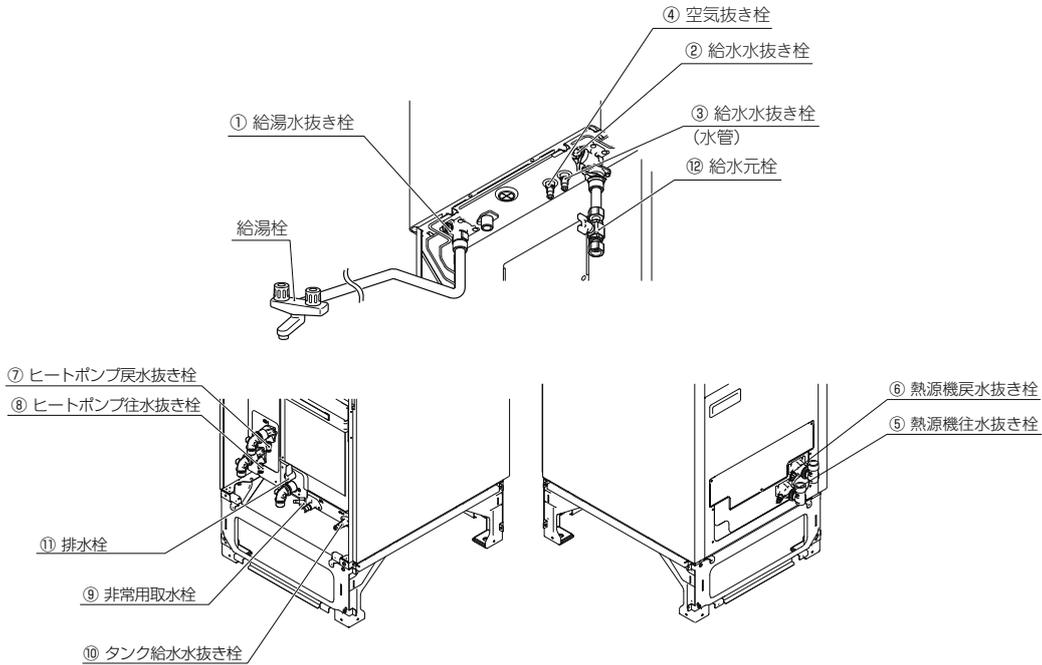
- 《水抜き》をしてから、再び使用する場合は機器に水はりが必要です。《水はり》は、下記を参照し、お客様のご使用状況に応じて、本説明書に記載している方法に沿って行ってください。

水はり方法1	MBC-301 シリーズリモコンを操作して「タンク自動水はり運転」機能で水はりを行う。 (水抜き方法1で水抜きした場合は主にこの方法で水はりします)	23 ページ参照
水はり方法2	手動で水はりを行う。 (水抜き方法2で水抜きした場合はこの方法で水はりします)	27 ページ参照
水はり方法3	MBC-301 シリーズリモコンを操作して「手動水はりモード」機能で水はりを行う。 (水抜き方法1で水抜き後、水はり方法1で水はりできない場合はこの方法で水はりします)	29 ページ参照

冬期の凍結による破損防止について

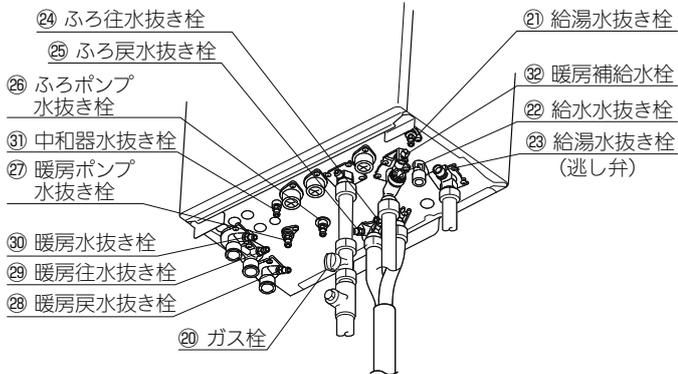
タンクユニットの水抜き栓位置

RTU-R1600 シリーズ

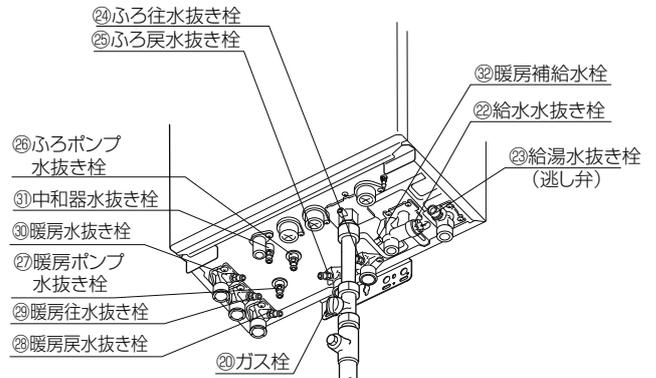


ガス熱源機の水抜き栓位置

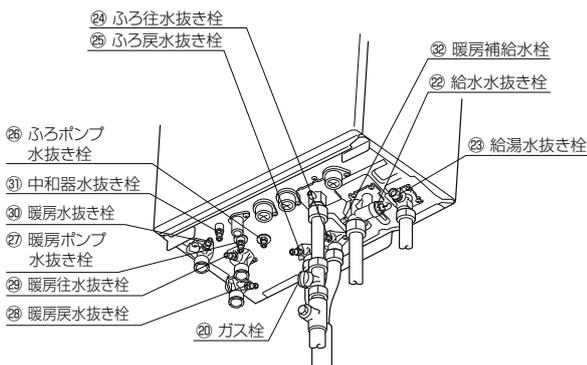
RHBH-RJ242AW2-1(E) シリーズ



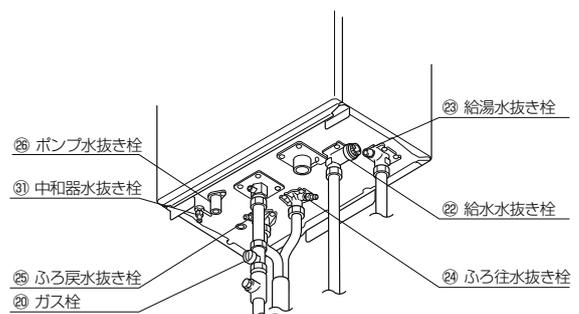
RHBH-RJ246AW2-1 シリーズ



RHBH-RJ245AW2-1(E) シリーズ

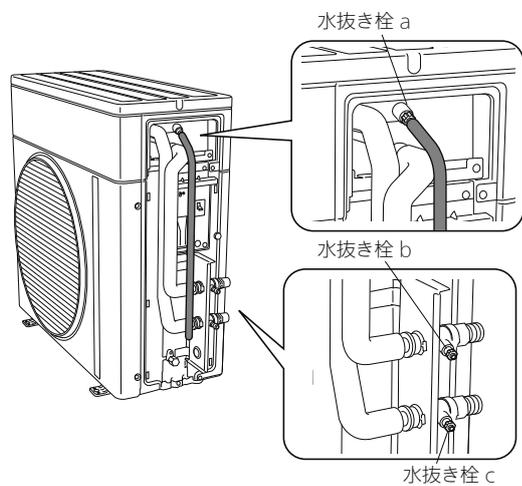


RHBF-RJ245AW(E) シリーズ



ヒートポンプユニットの水抜き栓の位置

RHP-R222(E)シリーズ



冬期の凍結による破損防止について

⚠️ 注意

- 冬期にハイブリッド給湯システムや凍結予防ヒーターの電源を「切」にする場合は、機器の水抜きを行ってください。凍結すると配管などが破裂し、水漏れのおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグや漏電しゃ断器をさわらないでください。感電のおそれがあります。
- 水抜きの際には、熱いお湯が出る場合がありますのでやけどに注意してください。
- ガス栓、給水元栓、水抜き栓などの位置はお使いの機器型式によって異なります。詳細なガス栓、水抜き栓の位置は、17・18 ページを参照してください。本説明書に記載されていない型式は、お使いになっているガス熱源機、ヒートポンプユニットの取扱説明書を参照してください。

水抜き方法 1

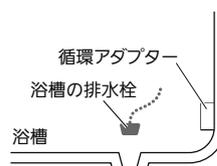
MBC-301 シリーズリモコンを操作して「水抜きモード」機能で水抜きを行う

1 機器のカバー類を取りはずしてください。(P.33・34 ページ)

- タンクユニットの前板下
- ヒートポンプユニットの配管カバー
- 連結据置台のフロントカバー

2 ガス栓⑳と給水元栓㉑を閉めてください。(右図参照)

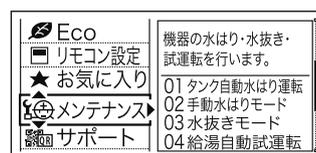
3 浴槽の排水栓を抜き、給湯栓を開けてください。
 お願い：混合水栓の給湯栓は、お湯側を開けてください。



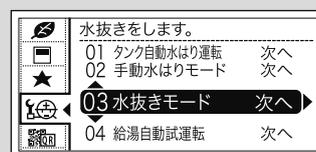
運転スイッチランプが消灯していることを確認してください。点灯している場合は、運転スイッチを押してください。

4 リモコンの **メニュー** を押して **メンテナンス** を選択し、 **決定**

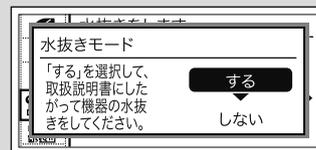
(例)



5 リモコンの **▼** または **▲** で **水抜きモード** を選択し **決定**



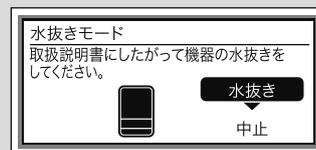
6 リモコンの **▼** または **▲** で **する** を選択し **決定**



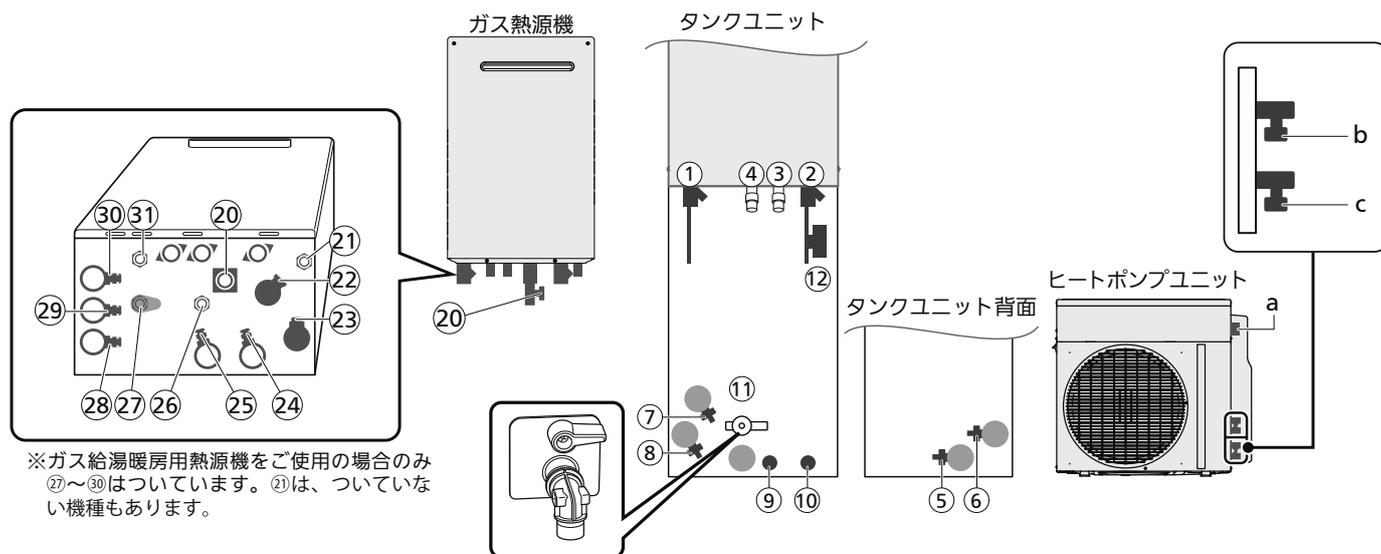
7 浴槽の循環アダプターより水が出ないことを確認したら、タンクユニットの排水栓⑩と水抜き栓⑦⑧を開けてください。

- タンクの水が抜けるまで約 40 分かかります。
- 下記のガイダンスが流れます。

「取扱説明書にしたがって、機器の水抜きを行ってください。」



て（「水抜きモード」で水抜きを行う）



8 タンクユニットの空気抜き栓または水抜き栓（上図①～⑩）、ガス熱源機の水抜き栓（上図㉑～㉒、㉓）、ヒートポンプユニットの水抜き栓（上図a～c）をすべて左に回してはずしてください。（機器内の給湯・ふろ配管の水抜きをします）

- 機器の配管途中に水抜き栓が付いている場合は、その栓も開けてください。
- 途中で水抜きを中止する場合は、中止を選択し、**決定** を押してください。そして、水抜きを再度行う場合は、手順 **1** から順番に行ってください。

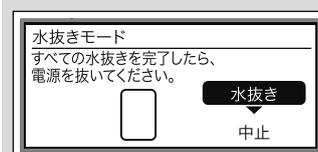
9 ガス熱源機の水抜き栓（上図㉑～㉓）をすべて左に回してはずしてください。（機器内の暖房配管の水抜きをします）

- ガス給湯暖房用熱源機をご使用の場合のみ行ってください。
- 暖房に不凍液をご使用の場合は、暖房側の水抜きを行う必要はありません。**9**の内容を実施せずに**10**以降を行ってください。

10 すべての水抜き栓から水が出なくなったら、ガス熱源機の電源プラグを抜いてください。

- 下記のガイダンスが流れています。
「すべての水抜きを完了しましたら、電源を抜いてください。」（ガス給湯暖房用熱源機ご使用時）
「取扱説明書にしたがって、機器の水抜きを行ってください。」（ガスふろ給湯器ご使用時）

（例）



11 ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器を「OFF」にしてください。

12 すべての栓（上図①～⑫、㉑～㉓、a～c）を閉めて、カバー類を元に取り付けてください。（**33**・**34** ページ）

※ふろの水抜きを行なった後は、浴槽に水を流し込まないでください。

⚠️ 注意

- 冬期にハイブリッド給湯システムや凍結予防ヒーターの電源を「切」にする場合は、機器の水抜きを行ってください。凍結すると配管などが破裂し、水漏れのおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグや漏電しゃ断器をさわらないでください。感電のおそれがあります。
- 水抜きの際には、熱いお湯が出る場合がありますのでやけどに注意してください。
- ガス栓、給水元栓、水抜き栓などの位置はお使いの機器型式によって異なります。詳細なガス栓、水抜き栓の位置は、17・18 ページを参照してください。本説明書に記載されていない型式は、お使いになっているガス熱源機、ヒートポンプユニットの取扱説明書を参照してください。

水抜き方法2

すべて手動で水抜きを行う

（停電中は、「停電対応ユニット」(UF-TTU1) をご使用の場合でも 11、12 は操作しません。）

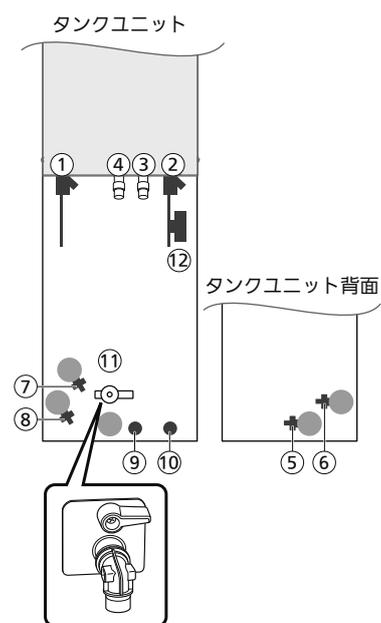
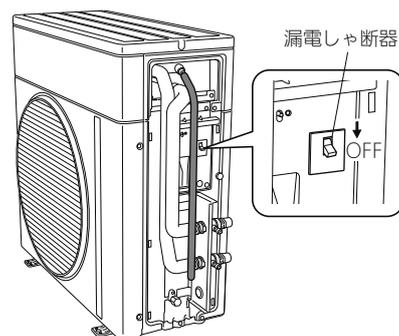
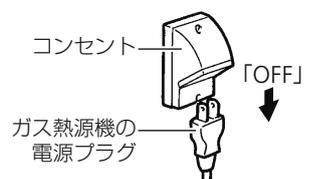
■ 給湯側、ふろ側の水抜きのしかた

タンクユニットとガス熱源機（給湯側）の水抜きをしてください。

1. リモコンの運転スイッチをいったん「入」にしてから再度「切」にして、30 分以内にガス熱源機の電源プラグを抜いてください。（またはガス熱源機が接続されている分電盤の配線用しゃ断器を「切」(OFF) にします)
2. カバー類をはずしてください。（☞ 33・34 ページ）
ヒートポンプユニットの配管カバー
タンクユニットの前板下
連結据置台のフロントカバー
3. ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器を「OFF」にしてください。（またはヒートポンプユニットが接続されている分電盤の配線用しゃ断器を「切」(OFF) にします)
4. ガス栓⑳と給水元栓㉑を閉めてください。
5. すべての給湯栓を開けてください。
6. タンクユニットの排水栓⑪と水抜き栓⑦⑧を開けてください。（タンクの水が抜けるまで約 40 分かかります。）
7. 下記の給湯側の水抜き栓・空気抜き栓を左に回してはらずして、水抜きを行ってください。（機器内の配管の水抜きをします。）
 - ・タンクユニット（図①～⑩）
 - ・ガス熱源機（図㉑～㉓）
 - ・ヒートポンプユニット（図 a～c）

ガス熱源機（ふろ側）の水抜きをしてください。

8. ガス給湯暖房用熱源機をご使用の場合はガス栓⑳を開けてください。（ガスふろ給湯器をご使用の場合はガス栓⑳を閉めたままにしてください）
9. ガス熱源機の電源プラグを差し込んでください。（またはガス熱源機が接続されている分電盤の配線用しゃ断器を「入」にします）
※リモコン表示画面に故障表示「308」が点滅する場合や“ヒートポンプユニットの電源を確認してください。”という音声がかかりますが、異常ではありません。
10. 浴槽の排水栓を抜いて、浴槽の水を排水してください。
11. 浴室リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。



て（すべて手動で水抜きを行う）

12. 浴槽の水がすべて排水されたことを確認してから、浴室リモコンのおいだしスイッチを「入」にしてください。3分以上経過後（部品の水抜きのため）に再度おいだしスイッチを押して「切」にしてください。
 ※すぐに排水が止まった場合でも、最初においだしスイッチを押してから約3分はそのままにしてください。
 ※おいだしスイッチが「入」のまま数分間すると表示画面に故障表示が点滅する場合があります。
13. ガス熱源機の電源プラグを抜いてください。または、ガス熱源機が接続されている分電盤の配線用しゃ断器を「切」にしてください。
14. 下記のふろ側の水抜き栓を左に回してはずして、水抜きを行ってください。
 ・ガス熱源機（図⑳～㉑、㉓）
熱いお湯が出る場合がありますのでやけどに注意してください。
15. ガス栓㉑を閉めてください。（ガス給湯暖房用熱源機ご使用の場合）

■暖房側の水抜きのしかた（ガス給湯暖房用熱源機ご使用の場合）

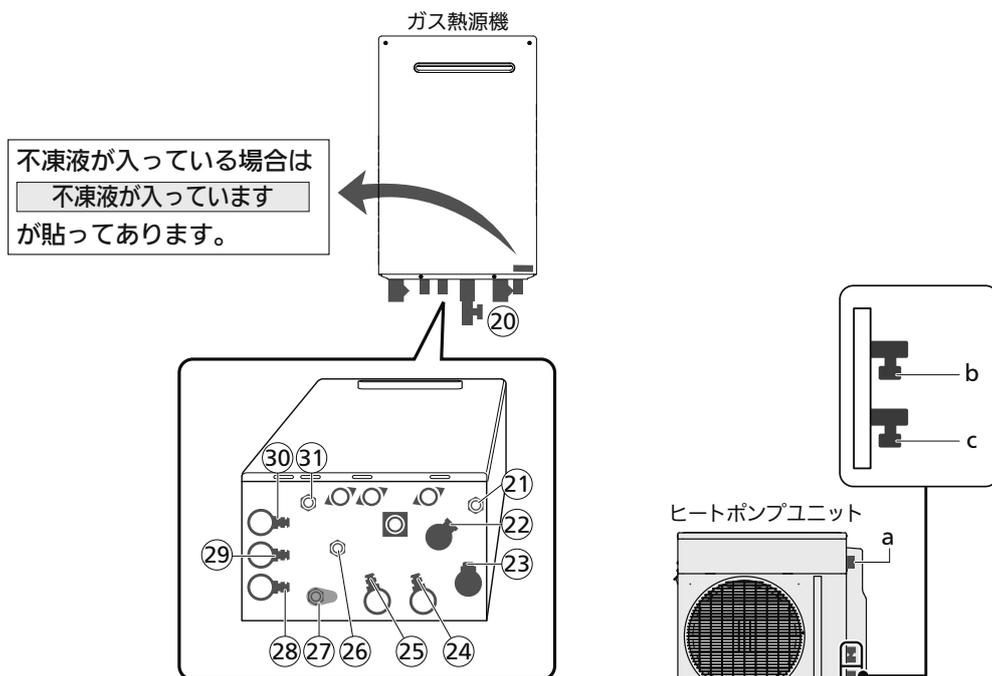
ガス熱源機（暖房側）の水抜きをしてください。

暖房側の《水抜き》は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く（分電盤の配線用しゃ断器を「切」（OFF）にする）ときのみ行ってください。不凍液注入の有無はフロントカバー右下に貼ってあるラベルでわかります。

16. ガス熱源機の電源プラグを差し込んでください。（またはガス熱源機が接続されている分電盤の配線用しゃ断器を「入」にします）
 ※リモコン表示画面に故障表示「308」が点滅する場合や“ヒートポンプユニットの電源を確認してください。”という音声流れる場合がありますが、異常ではありません。
17. 下記の暖房側の水抜き栓を左に回してはずして、水抜きを行ってください。
 ・ガス熱源機（図㉒～㉓）
 ※約2分後にリモコンの表示画面に故障表示「543」が点滅しますが異常ではありません。
熱いお湯が出る場合がありますのでやけどに注意してください。
18. リモコンの表示画面に故障表示「543」が表示されることを確認してください。
19. ガス熱源機の電源プラグを抜いてください。または、ガス熱源機が接続されている分電盤の配線用しゃ断器を「切」にしてください。

■水抜きが終了したら

20. 水抜き終了後は、必ずすべての水抜き栓・空気抜き栓・給湯栓を元通りに閉めてください。そして、取り外したカバー類を元通りに取り付けてください。（図33・34ページ）



※ガス給湯暖房用熱源機をご使用の場合のみ㉒～㉓はついていません。㉑は、ついていない機種もあります。

再び使用するとき（タンク自動水

水抜きをした機器を、次に使うときは…

お客様のご使用状況に応じた下記の水はり方法を選択して、水はりを行ってください。

水はり方法 1	MBC-301 シリーズリモコンを操作して「タンク自動水はり運転」機能で水はりを行う。 (水抜き方法 1 で水抜きした場合は主にこの方法で水はります)	本ページ参照
水はり方法 2	手動で水はりを行う。 (水抜き方法 2 で水抜きした場合はこの方法で水はります)	27 ページ参照
水はり方法 3	MBC-301 シリーズリモコンを操作して「手動水はりモード」機能で水はりを行う。 (水抜き方法 1 で水抜き後、水はり方法 1 で水はりできない場合はこの方法で水はります)	29 ページ参照

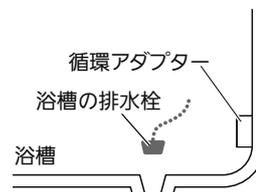
水はり方法 1

MBC-301 シリーズリモコンを操作して「タンク自動水はり運転」機能で水はりを行う

- 1 機器のカバー類をとりはずしてください。(☞ 33・34 ページ)

 - タンクユニットの前板下
 - ヒートポンプユニットの配管カバー
 - 連結据置台のフロントカバー
- 2 給水元栓⑫、排水栓⑪、ガス栓⑳、すべての栓（右下図参照）を閉めてあることを確認してください。
(タンクユニット①～⑫、ガス熱源機⑰～⑳、ヒートポンプユニット a～c) ガス熱源機の暖房補給水栓㉑のみ開けてください。
(栓の位置の詳細は☞ 17～18 ページ)
- 3 ヒートポンプユニットの電源を入れてください。

 - 分電盤の配線用しゃ断器を「入」(ON) にしてください。
 - ヒートポンプの漏電しゃ断器を「ON」 にしてください。
- 4 ガス熱源機（タンクユニット含む）の電源を入れてください。(電源を入れてから 5 分以内に 5～10 を行ってください。)
- 5 浴槽の排水栓が抜いてあることを確認してください。
そして、すべての給湯栓（シャワーや台所のカランなど）が閉めてあることを確認してください。
- 6 リモコン画面に下記のガイダンスが表示されている場合はガイダンスに従ってリモコンを操作してください。



スタンバイモード中
 停電モードに切り替える場合は 5分以内に「決定」スイッチを 5秒以上押してください
 切り替えない場合は「運転」スイッチを押してください。

新入居などで使用者が変わる場合はリンナイ専用アプリとの接続用の認証コードを変更します。
 (この画面は機器に通電開始した時に表示します)

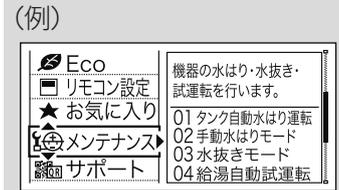
決定 次へ

(リモコンの運転スイッチを押してください)
 (停電モードについてはリモコン取扱説明書参照)

(リモコンの「決定」などを操作してください)
 (詳しくは無線 LAN 接続設定ガイド参照)

7 運転スイッチを「切」にしてください。
(運転スイッチランプが消灯していることを確認してください)

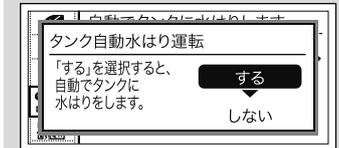
8 リモコンの **メニュー** を押して **▼** または **▲** で **メンテナンス** を選択し、 **決定**



9 リモコンの **▼** または **▲** で **タンク自動水はり運転** を選択し、 **決定**



10 リモコンの **▼** または **▲** で **する** を選択し **決定**

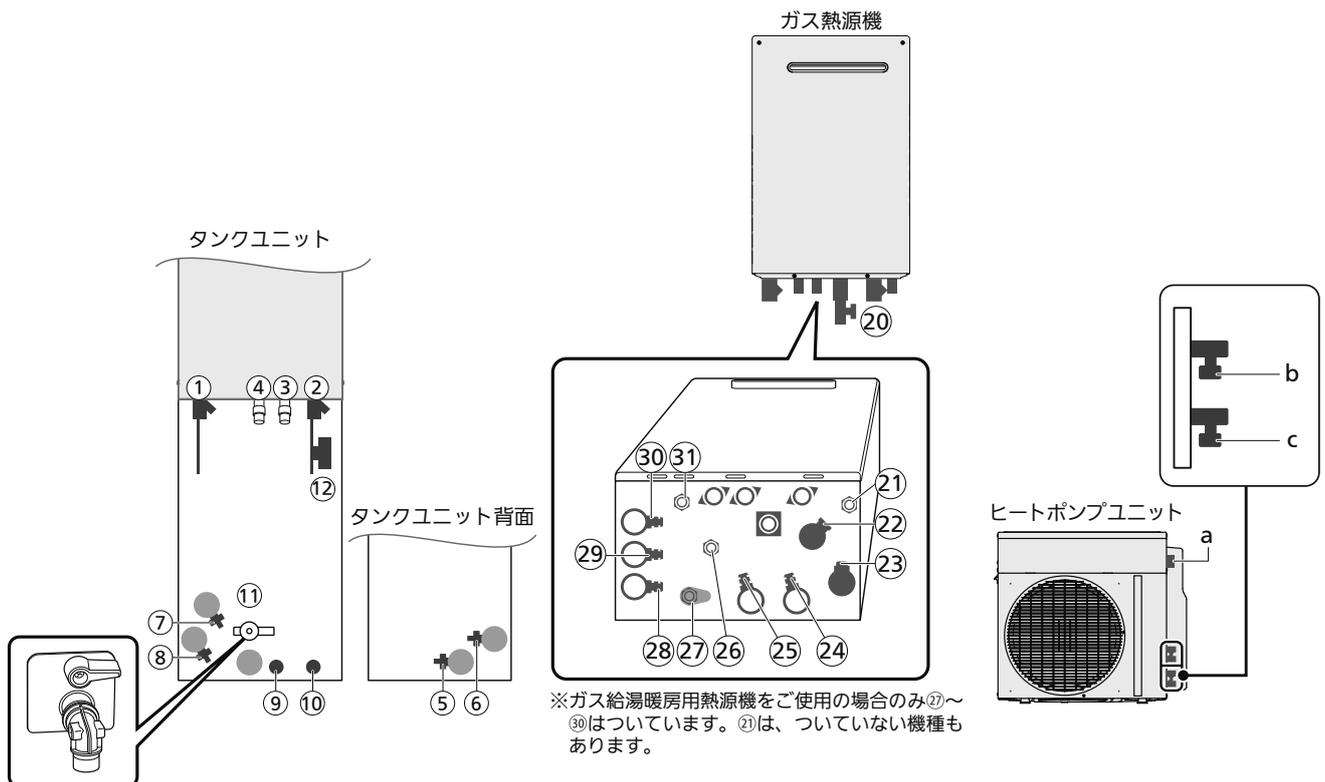


11 給水元栓⑫ (下図参照) を開けてください。

- 「給水元栓を開けてください。タンクユニットへ水はりをを行います。」のガイダンスが流れます。
- 給水元栓を開いて、しばらくすると、浴槽の循環アダプタより水が出ます。タンクが満水になると止水します。



水はり中は、水位レベルが下記のように繰り返し表示を行います。



再び使用するとき（タンク自動水）

12 タンクユニットの水抜き栓⑦（24 ページ下図参照）を開けて、1分以上水が連続して出てくることを確認したら、水抜き栓⑦を閉めてください。

※水抜き栓⑦より水が出ない場合は、機器の凍結、配管の凍結、または詰まりなどの可能性があります。手順 **13-1** の操作を行ってください。

水はり中は、水位レベルが下記のように繰り返し表示を行います。



13 しばらくするとタンクが満水になり、右記の画面を表示します。そして下記のガイダンス表示がされない場合は、手順 **14** へ移行します。

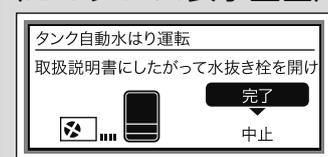
〈ガイダンス表示画面〉

表示画面に下記のガイダンスが流れた場合（ピーピーピーと音が鳴ります）は、手順 **13-1** から手順 **13-2** の手順に沿って手で機器の空気抜きを行ってください。（※ 1）

「取扱説明書にしたがって、水抜き栓を開けて、ヒートポンプに通水してください。」



〈ガイダンス表示画面〉



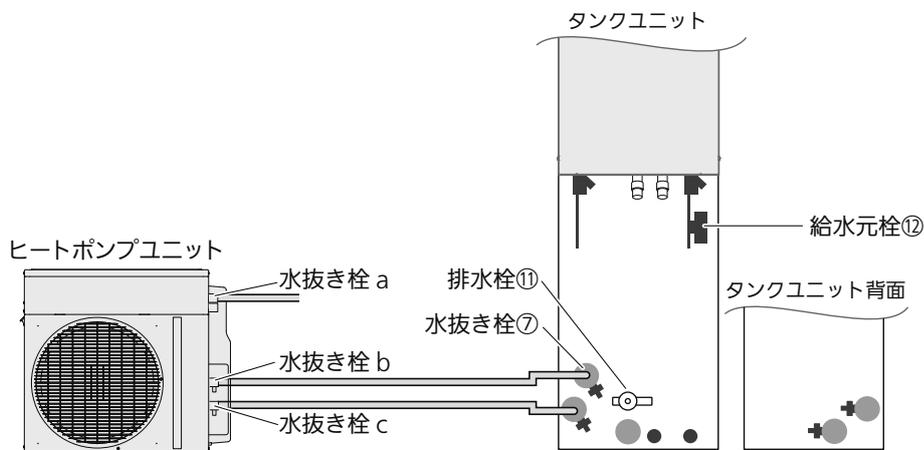
13-1

- ヒートポンプユニットの水抜き栓 **b**（下図参照）を開けて、3分以上、水が連続して出てくることを確認したら、水抜き栓 **b** を閉めてください。
- 水抜き栓 **b** より水が出てこない場合は、水抜き栓 **a** を開けて、3分以上、水が連続して出てくることを確認し、水抜き栓 **a** を閉めてください。水抜き栓 **a**（下図参照）より水が出ない場合は、配管内の凍結や詰まりの可能性があるので、お買い上げの販売店またはお客様センターにご連絡ください。

13-2

リモコンの **▼** または **▲** で **完了** を選択して **決定**

- 手順 **13** の画面へ移行します。



はり運転)

- 14** 水はりを完了すると、右記の画面を表示します。下記のガイダンス表示がされない場合は、手順 **15** へ移行します。

〈ガイダンス表示画面〉

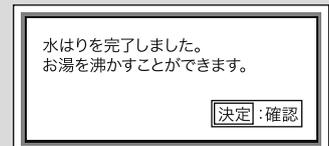
表示画面に下記のガイダンスが流れた場合（ピーピーピーと音が鳴ります）には、もう一度手順 **13-1** から手順 **13-2** に沿って操作してください。（※ 1）「取扱説明書にしたがって、水抜き栓を開けて、ヒートポンプに通水してください。」



〈ガイダンス表示画面〉



- 15** タンク自動水はり運転完了（メロディと「完了しました」の音声の流れます）
リモコンの **決定** を押してください。



- 16** ガス栓[㊟]を開き、手順 **1** で取りはずしたカバー類を取り付けてください。（ 33・34 ページ）

- 17** 暖房側の水はりは、各暖房端末のスイッチを「入」にすると、暖房配管に自動で水はりを行います。
※通水後、初めて暖房・自動・おだきを使用する場合でリモコンの表示画面に故障表示「543」が点滅する場合は、水抜き栓[㊟]～^㊿（ 24 ページ）が閉まっていることと暖房補給水栓[㊟]（ 17・18 ページ）が開いていることを確認し、電源をいったん「切」にした後再度「入」にしてください。

⚠注意

- 取りはずしたカバー類が確実に固定されていることを確認し、定期的に点検してください。取付ねじがゆるんではずれていたりすると、思わぬ事故の原因になります。

🏠お願い

- 水抜き栓は、工具で締め付けしないでください。破損のおそれがあります。

🗣お知らせ

- ※ 1 〈ガイダンス表示画面〉の内容が表示され、手順 **13-1** ～ **13-2** の作業を数回行っても、「タンク自動水はり運転」が完了しない場合は、エラーコードを表示します。（例 029、038、278、648、968 など）このような場合には配管内の凍結や詰まりの可能性がありますので、お買い上げの販売店またはお客様センターにご連絡ください。

再び使用するとき（手動水はり）

水はり方法2

手動で水はりを行う

お願い

- ・水抜き方法2「すべて手動で水抜きを行う」（☞ 21 ページ）で水抜きを行った後に水はりを行う場合のみ、この方法で水ほりをしてください。水抜き方法1で水抜きを行った後にこの水はり方法で行うと「■タンク沸き上げ運転の確認」を行うことができません。
- ・水抜き栓は、工具で締め付けしないでください。破損のおそれがあります。
- ・停電時の水はりは、「■タンクユニットへの水はり」のみ行ってください。別売の「停電対応ユニット」（UF-TTU1）を接続してお湯を使用することができます。（お使いのリモコン取扱説明書を参照してください。）ただし、凍結予防装置は、はたらかないため、屋外の水が凍るおそれがある場合でお湯を使わないときは、「水抜き方法2」（☞ 21 ページ）に沿って水抜きしてください。

準備

1. カバー類を取りはずしてください。（☞ 33・34 ページ）タンクユニットの前板下、ヒートポンプユニットの配管カバー、連結据置台のフロントカバー
2. 給水元栓⑫、排水栓⑪、ガス栓⑳、全ての栓を閉めてあることを確認してください。タンクユニット①～⑫、ガス熱源機㉑～㉓、ヒートポンプユニット a～c。ガス熱源機の暖房補給水栓㉒のみ開けてください。（栓の位置の概要は☞ 13 ページ、栓の位置詳細は☞ 17・18 ページ）
3. ヒートポンプユニットとガス熱源機（タンクユニット含む）が通電していないことを確認します。

■タンクユニットへの水はり

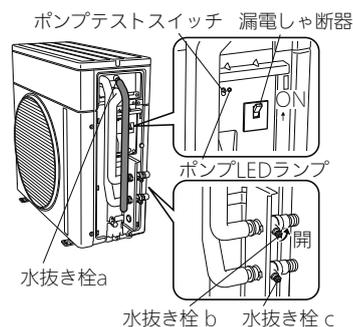
1. 給湯栓（シャワーなど）を開けてください。（お願い：混合水栓の給湯栓の場合は、お湯側を開けてください。）
2. タンクユニットの空気抜き栓④（☞ 13 ページ）を開けてください。
3. 給水元栓⑫を開けてください。
4. 空気抜き栓④から連続して水が出てきたら、空気抜き栓④を閉めます。
5. 3. を実施して約5分以上経過後、給湯栓から連続して水が出てきたら給湯栓を閉めます。

お願い

- ・給水元栓を開けた直後の数分は、連続して水が出てくる場合がありますが、その際に給湯栓は閉めないでください。しばらくすると、空気と水が混ざって出続けます。その後、連続して水が5分位出続けたら給湯栓を閉めてください。（タンクが満水になっています）

■ヒートポンプユニットへの水はり

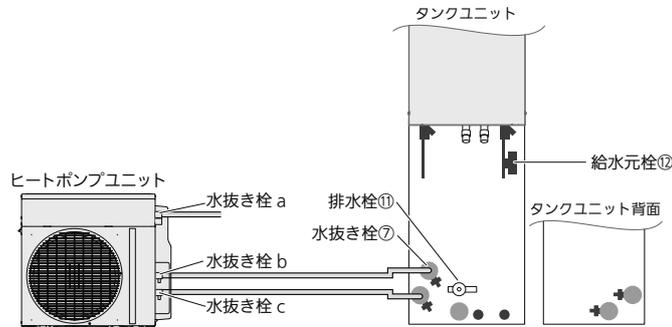
1. ヒートポンプユニットの水抜き栓bを開けて、3分以上連続して水が出てくることを確認してから、水抜き栓bを閉めます。（※1）
2. ヒートポンプユニットの電源を入れてください。ポンプLEDランプは点滅します。（ポンプLEDランプの位置は右図参照）
 - 分電盤の配線用しゃ断器を「入」（ON）にしてください。
 - ヒートポンプの漏電しゃ断器を「ON」にしてください。



お願い

- ※1 凍結などの原因により、水抜き栓bから水が出てこない場合があります。その際は下記の作業を行ってください。
- (1) 水抜き栓 a を開けます。
 - (2) 水抜き栓 a より連続して水が出てきたら、3分以上連続して水を出した後に、水抜き栓 a を閉めます。水抜き栓 a より水が出ない場合は、配管内の凍結や詰まりの可能性があるのでお買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
 - (3) ヒートポンプユニットの電源を入れてください。ポンプLEDランプは点滅します。
 - ・分電盤の配線用しゃ断器を「入」（ON）にしてください。
 - ・ヒートポンプの漏電しゃ断器を「ON」にしてください。
 - (4) ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器左横のポンプテストスイッチを押します。
 - (5) ポンプLEDランプが点灯し、給水ポンプが強制運転されます。
 - (6) 水抜き栓 a を開けて、水抜き栓 a より3分以上連続して水が出てきたら、水抜き栓 a を閉めます。そして、ポンプテストスイッチ押し、給水ポンプを停止し、「■タンク沸き上げ運転の確認」へ移行してください。

3. ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器左横のポンプテストスイッチを押します。ポンプ LED ランプが点滅⇒点灯し、給水ポンプが強制運転されます。
4. 給水ポンプ運転中に、水抜き栓 b を開けて、3 分以上連続して水が出てくることを確認します。(※ 1)
5. 水抜き栓 b を閉めて、もう一度ポンプテストスイッチを押します。(ポンプ LED ランプは点灯⇒点滅に変わり、給水ポンプが停止します。)



■タンク沸き上げ運転の確認

1. ガス熱源機の電源プラグを屋外用コンセントに差し込みます。(ガス熱源機が接続されている分電盤の配線用しゃ断器を「入」(ON) にします。)
2. リモコンの運転スイッチを「入」にします。(リモコンの時計および太陽光発電モードの設定はしないでください。設定すると沸き上げ運転に入らないときがあります。)
リモコン画面に下記のガイダンスが表示されている場合はガイダンスに従ってリモコンを操作してください。

スタンバイモード中
 停電モードに切り替える場合は 5分以内に「決定」スイッチを 5秒以上押してください
 切り替えない場合は「運転」スイッチを押してください。

(リモコンの運転スイッチを押してください)
 (停電モードについてはリモコン取扱説明書参照)

新入居などで使用者が変わる場合は
 リンナイ専用アプリとの接続用の
 認証コードを変更します。
 (この画面は機器に通電開始した
 時に表示します)

(リモコンの **決定** など进行操作してください)
 (詳しくは無線 LAN 接続設定ガイド参照)

3. しばらく (約 5 分) すると、ヒートポンプユニットが自動でタンク沸き上げ運転を行います。ヒートポンプユニットの運転開始から約 10 分連続運転することを確認します。(※ 2)
4. ガス栓 ㉔ (P. 13 ページ) を開けてください。
5. 時計を正しく設定してください。

お願い

- ※ 2・ヒートポンプユニット内の通水部凍結などの原因により、リモコン表示部に「029」、「038」、「278」、「648」、「968」などが出た場合は、もう一度、「■ヒートポンプユニットへの水はり」→「■タンク沸き上げ運転の確認」の手順に沿って作業を行ってください。
- ・タンク沸き上げ運転が開始されない場合は、「緊急時対応モード「電気」」に設定して確認してください。そしてヒートポンプユニットが約 10 分間連続運転することを確認したら、「緊急時対応モード」を元の設定に戻してください。(「緊急時対応モード」の設定は、お使いのリモコン取扱説明書を参照してください。)

■暖房の水はり (ガス給湯暖房用熱源機をご使用の場合)

暖房側の水はりは、各暖房端末の運転スイッチを「入」にすることで暖房配管に自動で水はりを行います。

※通水後、初めて暖房・自動・おいだきを使用する場合でリモコンの表示画面に故障表示「543」が点滅する場合は、水抜き栓 ㉒～㉓ (P. 13 ページ) が閉まっていることと暖房補給水栓 ㉔ (P. 17 ページ) を開けていることを確認し電源をいったん「切」にした後再度「入」にしてください。

■カバー類の取り付け

すべてのカバー類を取り付けてください。(P. 33・34 ページ)

再び使用するとき（手動水はりモ

水はり方法3

MBC-301 シリーズリモコンの「手動水はりモード」機能で水はりを行う

- 1 機器のカバー類を取りはずしてください。（☞ 33・34 ページ）
 - タンクユニットの前板下
 - ヒートポンプユニットの配管カバー
 - 連結据置台のフロントカバー
- 2 給水元栓⑫、排水栓⑪、ガス栓⑩、すべての栓（☞ 30 ページ）を閉めてあることを確認してください。ガス熱源機の暖房補給水栓⑬のみ開けてください。（栓の位置詳細は ☞ 17・18 ページ）
タンクユニット（図①～⑫）、ガス熱源機（図⑭～⑰）、ヒートポンプユニット（図 a～c）

- 3 ガス熱源機の電源を入れてください。
 - タンクユニットの電源も同時に入ります。
 ※リモコン表示画面に故障表示「308」が点滅する場合や“ヒートポンプユニットの電源を確認してください。”という音声が出る場合がありますが、異常ではありません。

- 4 リモコン画面に下記のガイダンスが表示されている場合はガイダンスに従ってリモコンを操作してください。

スタンバイモード中
 停電モードに切り替える場合は5分以内に「決定」スイッチを5秒以上押してください。切り替えない場合は「運転」スイッチを押してください。

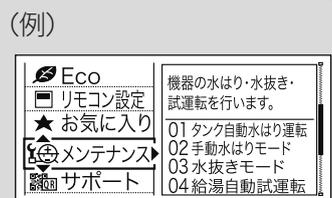
（リモコンの運転スイッチを押してください）
 （停電モードについてはリモコン取扱説明書参照）

新入居などで使用者が変わる場合はリンナイ専用アプリとの接続用の認証コードを変更します。（この画面は機器に通电開始した時に表示します）

（リモコンの「決定」などを操作してください）
 （詳しくは無線 LAN 接続設定ガイド参照）

- 5 運転スイッチを「切」にしてください。（運転スイッチランプが消灯していることを確認してください）

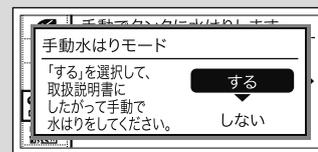
- 6 リモコンの **メニュー** を押して **▼** または **▲** で **メンテナンス** を選択して、 **決定**



- 7 リモコンの **▼** または **▲** で **手動水はりモード** を選択して **決定**

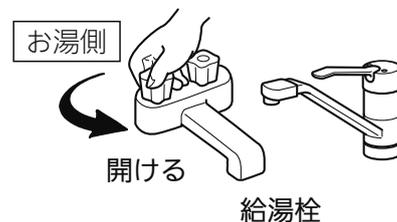


- 8** 右の画面が表示された場合はリモコンの **▼** または **▲** で **する** を選択し **決定**

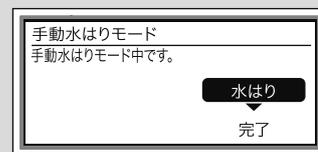


- 9** 給湯栓（台所のカランやシャワーなど）を開けてください。

お願い
混合水栓の給湯栓は、お湯側を開けてください。



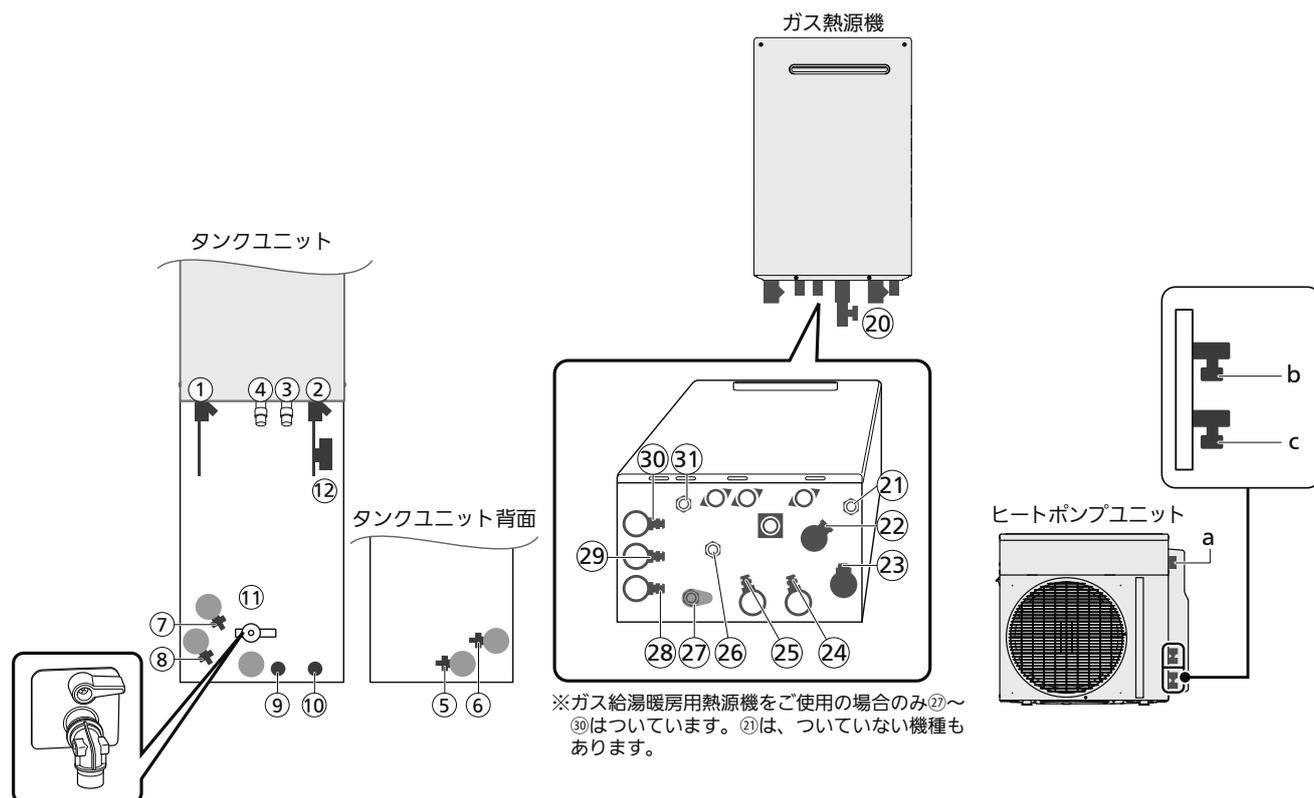
- 10** 給水元栓⑫を開けてください。
●表示画面に「手動水はりモード中です。」とガイダンスが流れます。



- 11** 手順 **10** を実施して約5分以上経過後、給湯栓から連続して水が出るようになったら給湯栓を閉めてください（※1）

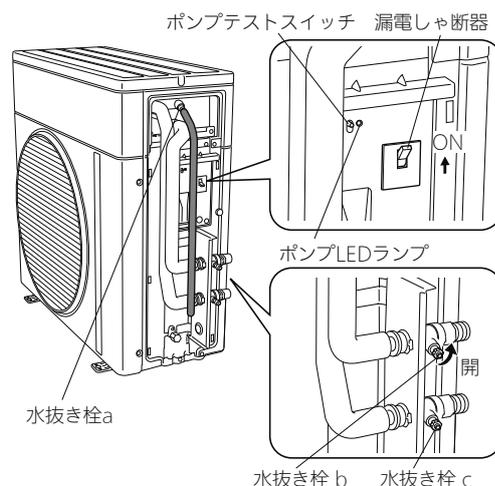


お願い
※1 給水元栓を開けた直後の数分は、連続して水が出てくる場合がありますが、その際に給湯栓は閉めないでください。その後、空気と水が混ざってしばらく出てきます。そして、空気と水が混ざって出てきてから後に連続して水が出てきたら給湯栓を閉めてください。（タンクが満水になります）



再び使用するとき（手動水はりモ

- 12** ヒートポンプユニットの水抜き栓 b を開けて、3分以上連続して水が出てくることを確認してから、水抜き栓 b を閉めます。（※ 2）



お願い

- ※ 2 凍結などの原因により、水抜き栓 b から水が出てこない場合があります。その際は下記の作業を行ってください。
- (1) 水抜き栓 a を開けます。
 - (2) 水抜き栓 a より連続して水が出てきたら、3分以上連続して水を出した後に、水抜き栓 a を閉めます。
水抜き栓 a より水が出ない場合は、配管内の凍結や詰まりの可能性がありますのでお買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
 - (3) ヒートポンプユニットの電源を入れてください。ポンプ LED ランプは点滅します。
・分電盤の配線用しゃ断器を「入」(ON) にしてください。
・ヒートポンプの漏電しゃ断器を「ON」 にしてください。
 - (4) ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器左横のポンプテストスイッチを押します。
 - (5) ポンプ LED ランプが点灯し、給水ポンプが強制運転されます。
 - (6) 水抜き栓 a を開けて、水抜き栓 a より3分以上連続して水が出てきたら、水抜き栓 a を閉めます。そして、ポンプテストスイッチを押して、給水ポンプを停止し、手順 **17** へ移行してください。

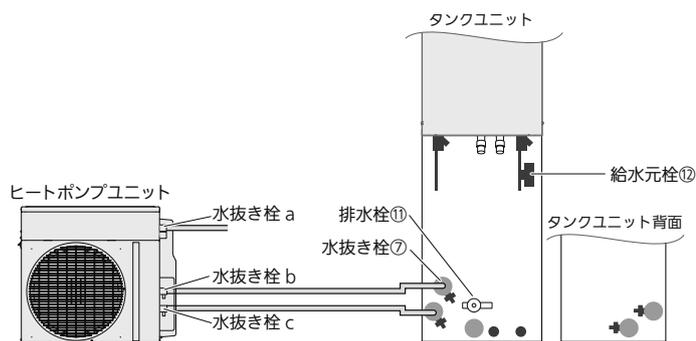
- 13** ヒートポンプユニットの電源を入れてください。

- 分電盤の配線用しゃ断器を「入」(ON) にしてください。
- ヒートポンプの漏電しゃ断器を「ON」 にしてください。

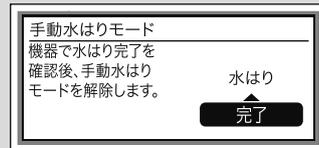
- 14** ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器左横のポンプテストスイッチを押します。ポンプ LED ランプが点滅⇒点灯し、給水ポンプが強制運転されます。

- 15** 給水ポンプ運転中に、水抜き栓 b を開けて、3分以上連続して水が出てくることを確認します。

- 16** 水抜き栓 b を閉めて、もう一度ポンプテストスイッチを押します。（ポンプ LED ランプは点灯⇒点滅し、給水ポンプが停止します。）



- 17** リモコンの  または  で **完了** を選択し **決定** を押します。



- 18** リモコンの運転スイッチを「入」にします。

お知らせ

リモコンの時計および太陽光発電モードの設定はしないでください。設定すると沸き上げ運転に入らないときがあります。**19**以降を完了後に設定してください。

- 19** しばらく（約5分）すると、ヒートポンプユニットが自動でタンク沸き上げ運転を行います。ヒートポンプユニットの運転開始から約10分連続運転することを確認します。（※3）

お願い

※3・ヒートポンプユニット内の通水部凍結などの原因により、リモコン表示部に「029」、「038」、「278」、「648」、「968」などが表示された場合は、もう一度、手順**13**に沿って作業を行ってください。
・タンク沸き上げ運転が開始されない場合は、「緊急時対応モード「電気」」に設定して確認してください。そしてヒートポンプユニットが約10分間連続運転することを確認したら、「緊急時対応モード」を元の設定に戻してください。（「緊急時対応モード」の設定は、お使いのリモコン取扱説明書を参照してください。）

- 20** ガス栓⑳（ 30 ページ）を開けてください。カバー類（ 33・34 ページ）を元に取り付けてください。

- 21** ガス給湯暖房用熱源機をご使用の場合、暖房側の水はりは、各暖房端末の運転スイッチを「入」にすることで暖房配管に自動で水はりを行います。

※通水後、初めて暖房・自動・おいだきを使用する場合でリモコンの表示画面に故障表示「543」が点滅する場合は、水抜き栓⑦～⑩（ 30 ページ）が閉まっていることと暖房補給水栓㉑（ 17 ページ）を開けていることを確認し電源をいったん「切」にした後再度「入」にしてください。

- 22** リモコンの時計表示を正しく設定してください。

日常の点検・お手入れの準備

- 日常の点検やお手入れのときは、カバー類を取りはずします。取りはずし方法および取り付け方法は下記の**1**～**3**を参照ください。

⚠注意

- カバー類を取りはずして再び取り付けたときは、カバー類が確実に固定されていることを確認し、定期的に点検してください。取付ねじがゆるんではずれていたりすると、思わぬ事故の原因になります。
- カバー類の取り外し、取り付けのときは、ツメなどでけがをしないように、十分に取扱いに注意してください。

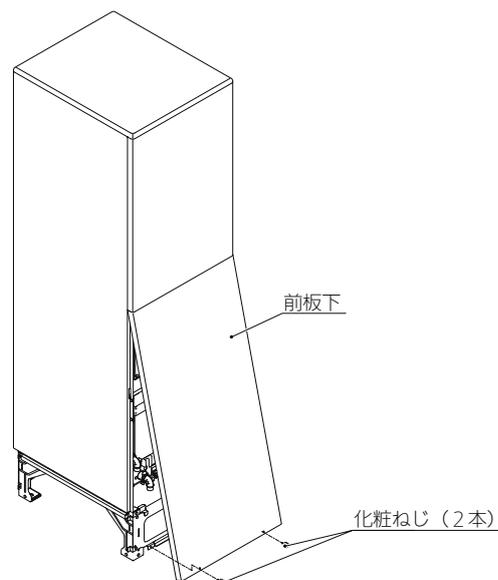
1 タンクユニットの前板下

<取りはずしかた>

- 化粧ねじ 2 本を取りはずし、前板下を取りはずします。

<取り付けかた>

- 前板下を取り付けます。(化粧ねじ 2 本)



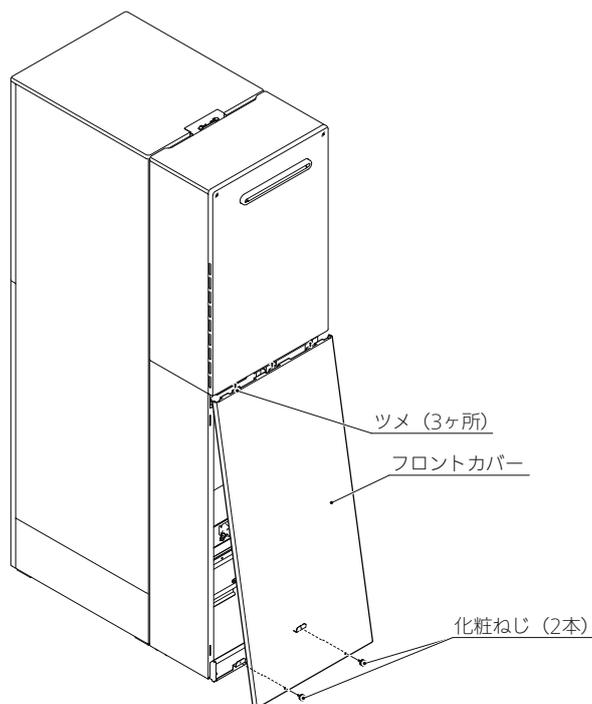
2 連結据置台のフロントカバー

<取りはずしかた>

- 化粧ねじ 2 本を取りはずし、フロントカバーを取りはずします。

<取り付けかた>

- ガス熱源機の前板下部にある 3 つの穴にフロントカバー上部のツメを差し込みます。
- フロントカバーを取り付けます。(化粧ねじ 2 本)



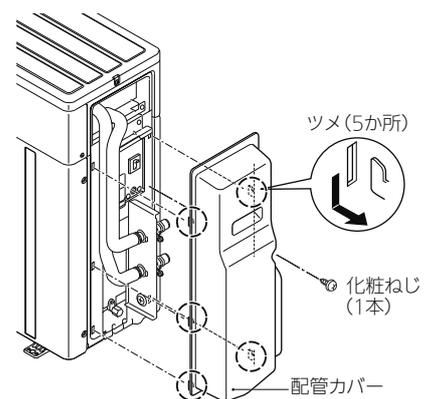
3 ヒートポンプユニットの配管カバー

<取りはずしかた>

- 化粧ねじ（1本）を取りはずし、ヒートポンプユニット配管カバーを右図の矢印のようにはずします。

<取り付けかた>

- ヒートポンプユニットの穴にツメ（5か所）を差し込みます。
- ヒートポンプユニット配管カバーを取り付けます。（化粧ねじ1本）



日常の点検・お手入れのしかた

安心してお使いいただくため、半年に1回以上、行ってください。

(カバー類の取りはずしかたは33・34ページを参照してください)

※使用後は機器内のお湯が高温になっていますので機器が冷めてから行ってください。

お客様ご自身で行っていただく日常の点検・お手入れの際は、次のことに注意してください。

- お手入れは、必ず①ガス栓を閉め、②ガス熱源機の電源プラグを抜き、ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器を「OFF」にして、③機器が冷めてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。(連結据置台、ガス熱源機据置台、ガス熱源機配管カバーのフロントカバーは除く)

■日常の点検…次のことにご注意ください。

- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？また、各部品とも正しくセットされていますか？
- 機器および配管から水漏れはありませんか？
- 沿岸部で潮風に当たりやすい地域でご使用の場合は、潮風に含まれる塩分によって機器本体や配管接続部にさびが発生しやすくなります。外観上のさびがひどい場合は、機器内部の部品への影響も考えられますので、点検(有料)をお願いします。また、万が一本体に穴があいた場合はすぐに使用を中止し、修理を依頼してください。
- 機器のまわりや排気口・給排気筒トップのそばに燃えやすいものはありますか？
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ(金網)を掃除してください。

お願い

水圧の低い地域では、泡沫器や浄水器を使用しないでください。お湯の量が少なくなります。

- 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルについては販売店または当社お客様センターにお問い合わせください。
- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、燃烧部などは年1回程度の定期整備をおすすめします。なお、この機器は給水用具(逆流防止装置)を内蔵しています。給水用具に関しては公益社団法人日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期整備の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。(有料)

※整備の内容や定期整備を受ける先が不明の場合および整備費用などについては、お買い上げの販売店または当社お客様センターにお問い合わせください。

- 使用条件・環境条件によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な交換が必要です。

※部品交換は純正部品をご指定ください。部品交換は有料で交換します。

●不凍液の点検と交換(有料)

- 不凍液は年に1回は濃度や汚れなどの点検を、お買い上げの販売店または当社お客様センターへ依頼してください。
- 不凍液の性能が低下していた場合は交換が必要です。交換のめやすは約2年に1回です。※不凍液の性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因になります。

■配管の点検

- 水漏れや保温材の破損などを点検します。特に冬期に入る前には、保温材のチェックを行います。破損している場合、配管や機器が凍結し破損することがあります。

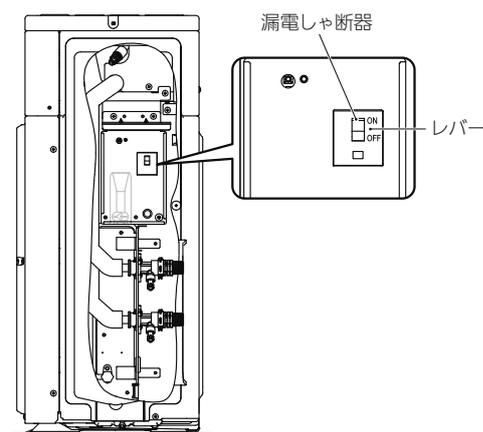
■タンクのお手入れ

- タンクから排水して、タンクの底の湯あかを流します。

⚠️注意

ぬれた手で漏電しゃ断器をさわらないでください。感電のおそれがあります。

1. ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器を「OFF」、または、ヒートポンプユニットが接続されている分電盤の配線用しゃ断器を「切」(OFF) にしてください。
※リモコン表示画面に故障表示「308」が点滅する場合や“ヒートポンプユニットの電源を確認してください。”という音声が出る場合がありますが、異常ではありません。
2. 給水元栓⑫を閉めてください。
3. 排水栓⑪を開けてください。
4. 水抜き栓⑦を開けてください。
5. 約2分間排水してください。
※熱いお湯が出る場合がありますのでご注意ください。
6. 排水栓⑪、水抜き栓⑦を閉めてください。
7. お客様のご使用状況に応じて、下記の方法を選択して、タンクユニットに水はりをしてください。



水はり方法 1

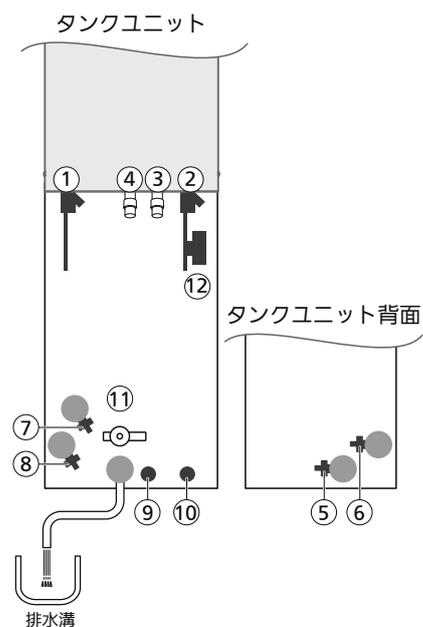
MBC-301 シリーズリモコンを操作して「タンク自動水はり運転」機能で水はりを行う
(水抜き方法 1 で水抜きした場合は主にこの方法で水はりします)

- P23 ~ 26 の ① ~ ⑬ の手順に沿って水はりしてください。

水はり方法 2

手動で水はりを行う
(水抜き方法 2 で水抜きした場合はこの方法で水はりします)

- P27 の「■タンクユニットへの水はり」の手順に沿って水はりしてください。



日常の点検・お手入れのしかた

■ストレーナのお手入れ

●給水水抜き栓先端のストレーナのお手入れをします。ストレーナにごみなどが付いているとお湯の量が少なくなります。特に近くで水道工事があったときはご注意ください。

●給水元栓、水抜き栓の位置は 17 ページを参照してください。

1. 給水元栓⑫を閉めてください。※必ず行ってください。
2. タンクユニットの給水水抜き栓⑭を左に回してはずして、ストレーナに付いているごみを取り除いてください。

※機器の使用直後は水抜き栓から機器内に残った熱いお湯が出ることがあります。機器が冷めるまで待って必ず給水元栓を閉めてから行ってください。(やけど防止のため)

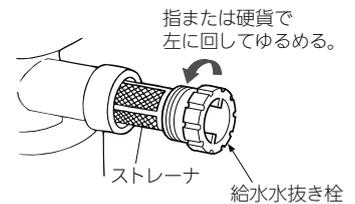
3. タンクユニットの給水水抜き栓⑭を元通りに取り付けてください。

※必ずガス熱源機の給水水抜き栓⑭ (☞ 17 ページ) を取りはずす前に行ってください。

4. ガス熱源機の給水水抜き栓⑭ (☞ 17 ページ) を左に回してはずして、ストレーナに付いているごみを取り除いてください。

※機器の使用直後は水抜き栓から機器内に残った熱いお湯が出ることがあります。機器が冷めるまで待って必ず給水元栓を閉めてから行ってください。(やけど防止のため)

5. ガス熱源機の給水水抜き栓⑭ (☞ 17 ページ) を元通りに取り付けてください。
6. 給水元栓⑫を開けてください。



■日常の点検・お手入れが終了したら…

●ガス栓⑳ (☞ 17 ページ) を開けてください。

●取りはずしたカバー類 (連結据置台のフロントカバー、タンクユニット前板下、ヒートポンプユニットの配管カバー) を元通りに取り付けてください。(☞ 33・34 ページ)

⚠注意

- 取りはずしたカバー類が確実に固定されていることを確認し、定期的に点検してください。取付ねじがゆるんではずれていたりすると、思わぬ事故の原因になります。

長期間使用しないとき

長期間使用しないときは次のことを行ってください。

⚠注意

- 冬期にハイブリッド給湯システムや凍結予防ヒータの電源を「切」にする場合は、システムの水抜きを行ってください。凍結すると配管などが破裂し、やけどや水漏れのおそれがあります。
- ぬれた手で、電源プラグや漏電しゃ断器をさわらないでください。感電のおそれがあります。

1 機器の水抜きをしてください。

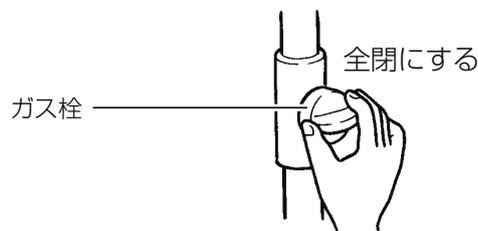
(☞ 19 ページ参照)

※すべて手で水抜きを行う場合は、21 ページを参照してください。



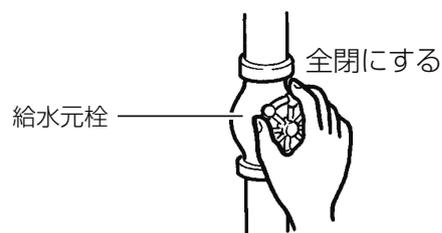
2 ガス栓が閉めてあることを確認してください。

- ガス栓はガス熱源機の下部または側部にあります。
- ※ガス栓の詳細位置は 17 ページを参照してください。



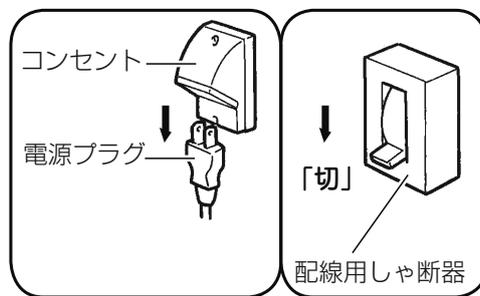
3 給水元栓が閉めてあることを確認してください。

- ※給水元栓の詳細位置は 17 ページを参照してください。
- ※給水元栓を閉める場合は、必ず機器の水抜き (15～22 ページ参照) を行ってください。タンクとヒートポンプ間の配管で循環不良が発生し、ヒートポンプの過熱異常や、機器および配管の凍結破損の恐れがあります。



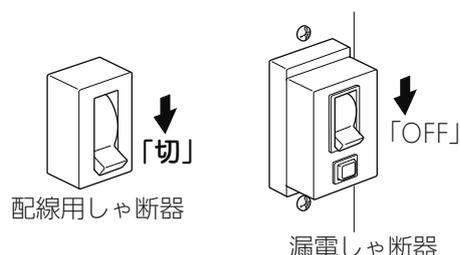
4 ガス熱源機 (タンクユニット含む) の電源プラグを抜いてあることを確認してください。

- ガス熱源機が接続されている分電盤の配線用しゃ断器が「切」(OFF) であることを確認してください。



5 ヒートポンプユニットの配管カバーを開けて (☞ 34 ページ)、漏電しゃ断器が「OFF」であることを確認してください。

- ヒートポンプユニットが接続されている分電盤の配線用しゃ断器が「切」(OFF) であることを確認してください。



断水したとき

断水したときは給水元栓を閉めてください。復旧したら、お湯を使う前に配管にたまっている水を出してください。

準備

- “日常の点検・お手入れの準備” (P. 33・34 ページ) を参照して、カバー類 (タンクユニットの前板下、連結据置台のフロントカバー、ヒートポンプユニットの配管カバー) を取りはずしてください。

断水したとき

1. 給水元栓⑫を閉めてください。(下図参照)
2. 使用中の給湯栓は、すべて閉めてください。
3. 取りはずしたカバー類を取り付けてください。(P. 33・34 ページ)

断水が復旧したときは…

下記の操作を行って、配管にたまっている水を出してからお使いください。

※水道工事などで濁った水が機器の中に入ると機器内のストレーナが目詰まりし、湯量が少なくなったり、お湯が濁る場合があります。

1. 混合水栓の水側を開けて、水を十分に出してください。
2. カバー類を取りはずしてください。(P. 33・34 ページ)
3. 給水元栓⑫を開けてください。(下図参照)
4. 取りはずしたカバー類を取り付けてください。(P. 33・34 ページ)

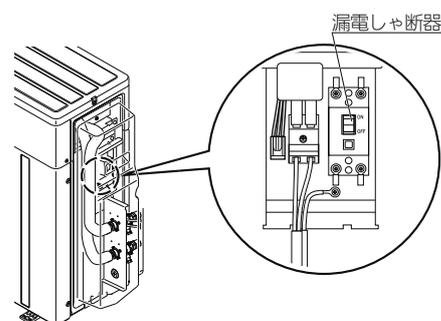
断水時にタンク内の水を使用するとき

市販のホースを接続して、タンク内の水を生活用水として使うことができます。(飲用は避けてください)

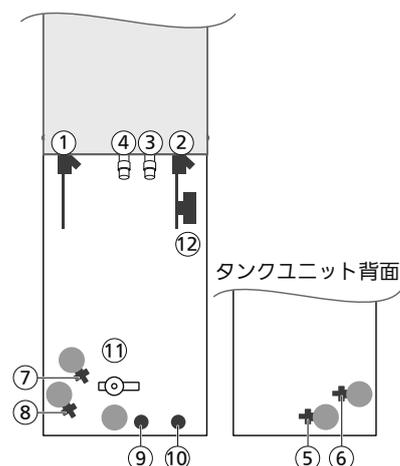
※断水時でも「タンク手動沸き上げモード」機能でタンクのお湯を沸き上げることができます。(詳しくはお使いのリモコン取扱説明書を参照してください)

1. ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器を「OFF」、またはヒートポンプユニットが接続されている分電盤の配線用しゃ断器を「切」(OFF) にしてください。
※リモコン表示画面に故障表示「308」が点滅する場合や“ヒートポンプユニットの電源を確認してください。”という音声が出る場合がありますが、異常ではありません。
2. 給水元栓⑫を閉めてください。(右図参照)
3. 市販のホース (内径 12mm) を非常用取水栓⑨に差し込んでください。

ヒートポンプ漏電しゃ断器図

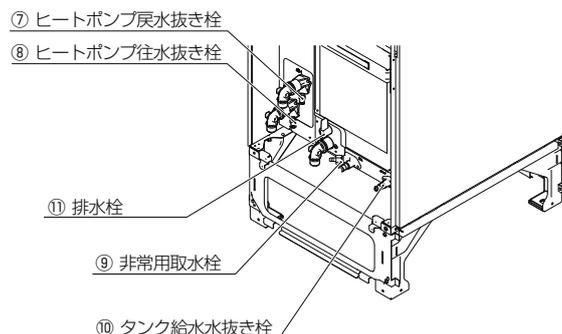


タンクユニット水抜き栓概要図



4. ホース差し込み部を持って非常用取水栓⑨を左に回してください。ヒートポンプ戻水抜き栓⑦をゆるめてください。非常用取水栓⑨からお湯(水)が出ます。
※熱いお湯が出る場合がありますので、ご注意ください。

タンクユニット水抜き栓詳細図



5. 生活用水として使い終わったら非常用取水栓⑨とヒートポンプ戻水抜き栓⑦を閉めて、取りはずしたカバー類を取り付けてください。

■生活用水として使った後に断水が復旧したら

※下記の操作に沿って、水道工事などで濁った水が機器内に入らない状態にしてください。

1. 混合水栓の水側を開けて、水を十分に出し、濁った水が機器内に入らない状態になったら、混合水栓を閉めてください。
2. お客様のご使用状況に応じて、下記の方法を選択して、タンクユニットに水はりしてください。

水はり 方法 1	<p>MBC-301 シリーズリモコンを操作して「タンク自動水はり運転」機能で水はりを行う (水抜き方法 1 で水抜きした場合は主にこの方法で水はりします)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● P23 ~ 26 の 1 ~ 16 の手順に沿って水はりしてください。
---------------------	--

水はり 方法 2	<p>手動で水はりを行う (水抜き方法 2 で水抜きした場合はこの方法で水はりします)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● P27 ~ 28 の手順に沿って水はりしてください。
---------------------	--

⚠️ 注意

- ぬれた手で漏電しゃ断器をさわらないでください。感電のおそれがあります。
- 取りはずしたカバー類が確実に固定されていることを確認し、定期的に点検してください。
取付ねじがゆるんではずれていたりすると、思わぬ事故の原因になります。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。

修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

お使いのリモコン取扱説明書、ガス熱源機取扱説明書、ヒートポンプユニット取扱説明書に記載されている「故障かな?と思ったら」もご参照ください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
給湯栓を開けてもお湯が出ない、または、少ない。	タンクユニットやガス熱源機の給水水抜き栓のストレーナにごみなどが詰まっていますか?	37 ページ
湯温が変動して安定しない	タンクユニットやガス熱源機の給水水抜き栓のストレーナにごみなどが詰まっていますか?	37 ページ
タンク沸き上げ中、タンクユニットの排水口（逃し弁）からお湯（水）が漏れる。	貯湯温度の上昇とともに、タンク内のお湯（水）が膨張して、逃し弁が作動して、お湯（水）が出るためです。異常ではありません。タンク沸き上げ時以外でも、排水口からお湯（水）が出る場合はお買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。	
冬期にタンク沸き上げ運転を行わず、ガス熱源機ばかりが作動して給湯を行う。	数日間給湯をしなくて、その後気温が低い日が続くと、タンク内の水質を維持するためにタンク内を高温状態にしてタンクの湯を止水する時間を長く行う場合があります。この場合タンクの湯を止水している間は、ガス熱源機で給湯します。異常ではありません。	

故障表示が点滅する

機器が故障すると表示画面の時刻表示部に下図のような故障表示が点滅します。
故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

1 ガス栓と給水元栓が十分に開けてあるか確認します。

全開にする

ガス栓 給水元栓

機器の下部

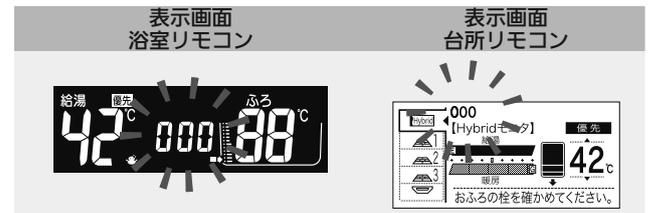
2 お湯を使っている場合は、給湯栓を閉めます。

全閉にする

3 運転スイッチを「切」にして、再び「入」にします。

4 再び使用してみてください。

- 上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店または当社お客様センターに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。



故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態
029	試運転	159	給湯	349	リモコン接続時	659	給湯自動たし湯	A39	給湯自動たし湯
038	試運転	208	ヒートポンプ運転時	359	給湯自動たし湯	669	リモコン運転時	A49	給湯自動たし湯
039	試運転	269	リモコン接続時	419	給湯自動たし湯	709	リモコン接続時	A59	給湯自動たし湯
060	試運転	278	ヒートポンプ運転時	429	給湯自動たし湯	729	リモコン接続時	A69	給湯自動たし湯
068	試運転	308	リモコン接続時	569	リモコン接続時	968	試運転	A79	給湯自動たし湯
108	ヒートポンプ運転時	319	給湯自動たし湯	589	給湯自動たし湯	A09	給湯自動たし湯	A89	給湯自動たし湯
109	リモコン接続時	329	給湯自動たし湯	599	給湯自動たし湯	A19	給湯自動たし湯	A99	給湯自動たし湯
149	給湯自動たし湯	339	リモコン接続時	648	試運転	A29	給湯自動たし湯		

上記以外の故障表示が出た場合はリモコン取扱説明書、ガス熱源機取扱説明書、ヒートポンプユニット取扱説明書をご覧ください。

主な仕様・能力表

●システム構成ユニット一覧表

熱源機・タンク一体タイプ

システムの呼び方	ハイブリッド ふる給湯システム		ハイブリッド給湯・暖房システム	
ガス熱源機 ※1	RHBF-RJ245AW(E)	RHBH-RJ246AW2-1	RHBH-RJ245AW2-1(E)	RHBH-RJ242AW2-1(E)
タンクユニット ※1	RTU-R1600、RTU-R1600K（寒冷地仕様）、RTU-R1600-PV、RTU-R1600K-PV（寒冷地仕様）			
ヒートポンプユニット	RHP-R222(E)、RHP-R222(E)-E（塩害仕様）			
リモコン	MBC-301VC(B)、MBC-301VCA(B)、MBC-301VC(A)、MBC-301VCA(A)、 MBC-261VC、MBC-231VC、MC-231V、MBC-MB301VC			
外形寸法	825×474×1750			
設置時質量(kg)	95	103	99.5	106.5
満水時質量(kg)	255	263	259.5	270.5

※1 塩害仕様の場合は型式末尾に「-EG」や「EG」が追加されているものもあります。

●タンクユニットの仕様表

品名 ※1	RTU-R1600	RTU-R1600K （寒冷地仕様）	RTU-R1600-PV	RTU-R1600K-PV （寒冷地仕様）
型式	RTU-R1600	RTU-R1600	RTU-R1600	RTU-R1600
設置方式	屋外設置型			
外形寸法(mm) 幅×奥行×高さ	474×564×1750			
出荷時質量(kg)	51			
満水時質量(kg)	211			
タンク容量(L)	160			
最高圧力(Mpa)	0.480			
沸き上がり温度	温度設定可変可能（約45℃、約50℃、約55℃、約65℃）			
接続	給水口・給湯口	20A (R3/4)		
	ヒートポンプ往接続口(給C)	15A (G1/2 B)		
	ヒートポンプ戻接続口(給H)	15A (G1/2 B)		
	熱源機往接続口(水)	20A (R3/4)		
	熱源機戻接続口(ゆ)	20A (R3/4)		
	オーバーフロー接続口	15A (R 1/2)		
排水接続口	15A (G 1/2 B)			
電源	AC100V			
気関係	消費電力(W) (50-60Hz)	待機時	0.6 W	
		作動時最大	10.5 W	
	凍結予防ヒータ	148	228	148
安全装置	減圧弁 (0.39MPa)		逃し弁 (0.45MPa)	凍結予防装置
給水装置認証番号	NC3004			

仕様は改良のため予告なく変更することがあります。



MEMO

アフターサービスについて

■修理を依頼される前に

- 41・42 ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
確認のうえそれでも不具合のある場合やご不明な点がある場合は、ご自分で修理なさらず、必ずガス栓・給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて(分電盤の配線用しゃ断器を「切」にして)から、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
- 修理をお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - ①製品名(タンクユニット)
 - ②品名(銘板表示のもの…3 ページ参照)
 - ③故障または異常の内容(故障表示の数字など…42 ページ参照)
 - ④お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印など)
 - ⑤訪問ご希望日・時間帯

■転居または機器を移設される場合

- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整には専門の資格・技術が必要となります。必ずお買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないよう場所をお選びください。また、ガス熱源機本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居・移設に伴う調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

- 本書の裏表紙が保証書になっています。
- 必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間・一定条件のもとに、無料修理に応ずることを約束いたします。(詳細は保証書をご覧ください)
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理致します。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害(虫や小動物・雑草などの侵入など)による故障は、保証期間内でも有償修理となりますのでご承知おきください。
- BL 認定品は「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
- 一般財団法人ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

■補修用性能部品の保有期間について

- この機器の補修用性能部品の保有期間は製品本体の製造打切後 10 年です。
BL 認定品にはガス熱源機のフロントカバーに右の表示があります。
- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。



■アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

■お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 当社は機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の覆行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

■交換部品・別売品などのお求めは

- 当社のインターネット販売サイト R.STYLE（リンナイススタイル）では、交換部品や別売品・お手入れ品などを幅広く取り扱っております。交換部品はお客様自身でお取り替えできる部品が対象です。なお、取扱説明書を紛失した際も下記サイトからお買い求めいただけます。



当社製品の交換部品・お手入れ品などをインターネット販売サイトよりご注文いただけます。

<https://www.rinnai-style.jp/>

リンナイ ハイブリッド給湯・暖房システム 保証書
ハイブリッドふろ給湯システム

タンクユニット	RTU-R1600	RTU-R1600K
	RTU-R1600-PV	RTU-R1600K-PV

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

- 保証期間はご購入の日から2年間（貯湯タンクは5年間）とし、タンクユニット本体を対象とします。保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、ご購入の販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるご購入の販売店に修理をご依頼できない場合には、当社お客様センターにご相談ください。
リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120-054321
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 保証についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、ご購入の販売店またはもよりの弊社窓口が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、ご購入の販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 犬・猫・鳥・鼠・くも・ゴキブリなどの小動物や昆虫類の侵入などに起因する不具合。
 - (ニ) 火災・凍結・水害・地震・落雷・ばい煙・降灰・酸性雨・異常気象その他の天災地変や公害・塩害・ほこり・腐食性の有害ガス・異常電磁波・異常電圧・異常周波数による故障および損傷。
 - (ホ) 建築躯体の変形等、機器本体以外に起因する不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等によって生じる外観上の現象。
 - (ヘ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ト) 本書の提示がない場合。
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句が書き替えられた場合。
 - (リ) 指定外の燃料、使用電源（電圧）の使用による故障および損傷。
 - (ロ) 温泉水・井戸水・地下水を給水したことによる不具合。
 - (ル) ご転居などによる熱量変更に伴う改造・調節の場合。
 - (レ) 水道管の錆びなど、異物の流入による故障および損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ご購入の販売店または当社お客様センターにお問合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは45ページをご覧ください。

ご購入日および販売店名

お客様	ご芳名	販売店	店名	扱者印
	ご住所		住所	
	ご購入日		年 月 日	

修理記録

この機器の修理記録は、機器内に収納の故障診断シートに記録します。

お客様へ

この保証書をお受取りになるときにご購入日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ 株式会社

〒454-0802 名古屋市中区福住町2番26号
TEL 代表052-361-8211

故障・修理・お問い合わせについては

インターネットでのお問い合わせやお手続き

修理のお申し込み お問い合わせ・サポート



お電話でのお問い合わせ

お客様センター 受付時間 平日9:00～18:00 土日祝日9:00～17:00

※年末年始は除く

修理受付時間 365日24時間

フリーダイヤル 0120-054321

ナビダイヤル 0570-550258

※携帯電話からの場合(通話料が発生します)

保守点検・所有者登録についてのお問い合わせは

保守点検コールセンター 0120-493110

受付時間 平日9:00～19:00
※土日祝日など当社指定休日を除く

